

# 南相馬市 市民意識調査

## 調査結果

2015 年 9 月

南相馬市復興企画部企画課

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

本市では、未だ原発事故による影響が大きく、除染の問題や風評被害などへの対策をはじめ、地震や津波の被害により居住地域への帰還の目処が立たないまま避難生活を送る市民など、様々な地域課題を抱えている。そのような状況下で、本市の抱える課題を整理・分析するとともに、今後の南相馬市について住民の意向を把握し、新しい魅力的なまちづくりを進めるための基礎資料として活用することを目的とし、調査を実施した。

## 2. 調査期間

平成 27 年 6 月 17 日（水）～平成 27 年 7 月 5 日（日）

## 3. 調査対象

本市に住民登録をしている 18 歳以上の市民のうち、無作為に抽出された 3,000 人

## 4. 調査方法

郵送による配布・回収

## 5. 回収状況

配付数①	総回収数	有効回収数②	有効回収率 ②／①
3,000	1,357	1,356	45.2%

## 6. 調査結果の見方

- (1) N (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

## II 調査結果の総括

### 1. 生活の不安・心配

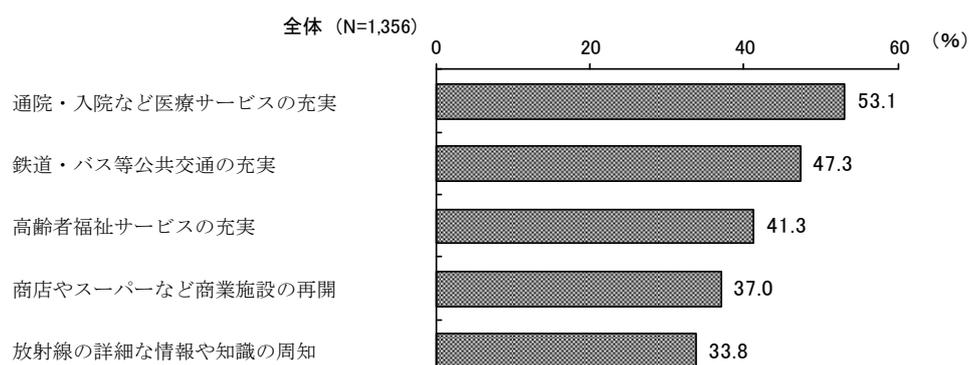
市民の心配としては、健康や医療に関する事柄が増加。

	今回調査		前回調査	
1位	体調面や健康面（放射線以外）	47.9%	放射線による人体への影響	51.8%
2位	放射線による人体への影響	45.1%	体調面や健康面（放射線以外）	47.3%
3位	医療・福祉サービス	42.0%	医療・福祉サービス	42.1%
4位	賠償・補償金の問題	29.0%	賠償・補償金の問題	30.6%
5位	生活資金の確保	25.4%	生活資金の確保	26.8%

生活で抱えている不安や心配について前回調査と比較すると、前回トップ項目であった「放射線による人体への影響」が約7ポイント減少している。これにより、「体調面や健康面（放射線以外）」がトップ項目となっており、また「医療・福祉サービス」は前回調査とほぼ同様の割合となっている。このことから、市民の心配事が放射線による影響から、健康や医療に徐々に移行していることがうかがえる。

### 2. 生活改善に必要な施策

生活改善の施策としては「医療の充実」がトップ、次いで「公共交通の充実」。

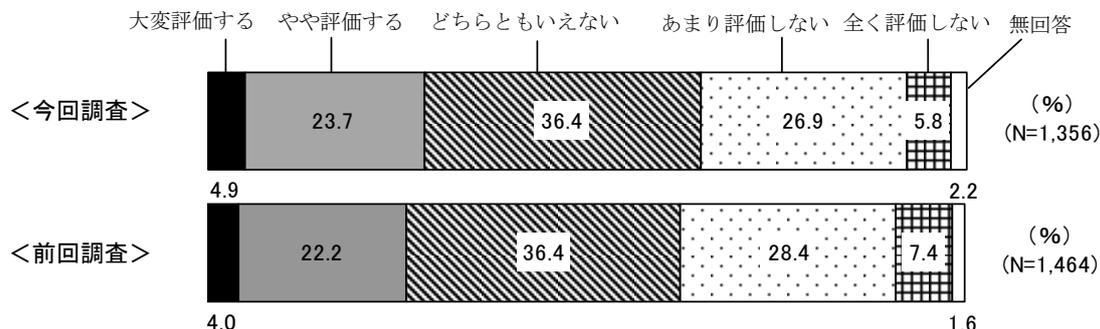


※上位5項目

日常生活の改善に必要な施策について、「通院・入院など医療サービスの充実」が53.1%と最も多く、次いで「鉄道・バス等公共交通の充実」(47.3%)となっている。「鉄道・バス等公共交通の充実」は今回調査で新設した項目だが、トップ項目である「通院・入院など医療サービスの充実」に次いで回答が多くなっており、市民の公共交通へのニーズの高さがうかがえる。

### 3. 復興取組の総合評価

《高評価層》が約3ポイント上昇。復興に関する評価が昨年度よりも高い。

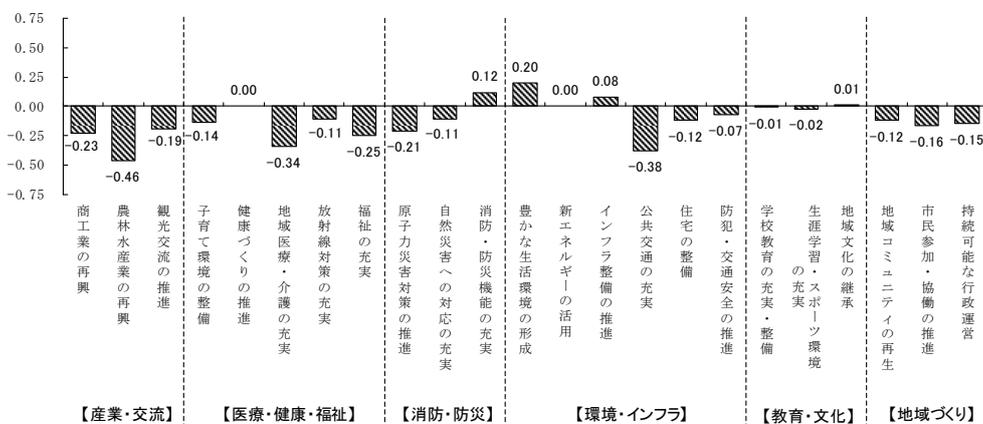


南相馬市の復興への取り組みに対する評価は、「全く評価しない」(5.8%)、「あまり評価しない」(26.9%)を合わせた《低評価層》は全体の約3割を占めており、「大変評価する」(4.9%)と「やや評価する」(23.7%)を合わせた《高評価層》を上回っている。

前回調査と比較すると、《低評価層》が約3ポイント減少しているのに対し、《高評価層》が約2ポイント上昇しており、市民の復興に関する総合的な評価が昨年度よりも高まっていることがわかる。

### 4. 各施策の評価

消防・生活環境・インフラ・地域文化継承の評価が高く、農林水産業・医療・公共交通の評価が低い。



各施策の評価について、項目ごとに評価点を算出した。

この結果、評価点がプラスになった項目は、「消防・防災機能の充実」、「豊かな生活環境の形成」、「インフラ整備の推進」、「地域文化の継承」であり、これらの項目は評価が高いことがわかる。

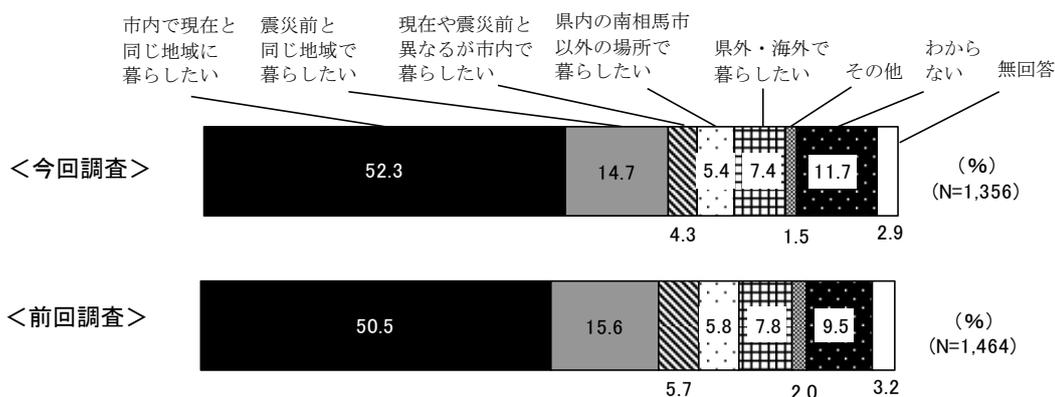
一方、これ以外の項目は評価点が0点あるいはマイナスとなり、特に「農林水産業の再興」、「地域医療・介護の充実」、「公共交通の充実」は大きなマイナスで評価が低くなっている。

※評価点の算出については、各施策の評価について、選択仕事に以下の点数を付与し、その合計を回答数（無回答を除く）で除することで算出した。

- 「大変評価する」：2点、「やや評価する」：1点、
- 「どちらともいえない」：0点、
- 「あまり評価しない」：-1点、「全く評価しない」：-2点、「無回答」：点数の付与はしない

### 5. 今後の定住意向

市内での定住希望者は全体の約7割。「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」人が微増。



今後の南相馬市での定住意向について、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」との回答が52.3%と最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」(14.7%)、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」(4.3%)を合わせると、市内での定住を希望する人は全体の約7割となっている。

前回調査と比較すると、「震災前と同じ地域で暮らしたい」及び「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」がそれぞれ約1ポイント減少し、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」が約2ポイント増加しており、現在の場所での定住意向がやや高くなっている。

### 6. 生活の充実度

生活の充実度は《低充実度層》が4割以上で、《高充実度層》を大きく上回る。

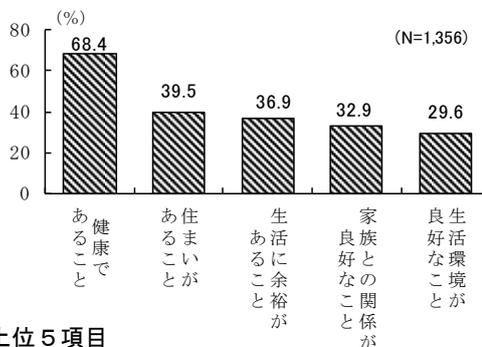


生活の充実度について、「1 (全く充実していない)」から「10 (とても充実している)」の10段階でたずねたところ、「1 (全く充実していない)」から「4」を合わせた《低充実度層》が全体の4割以上を占めており、「7」から「10 (とても充実している)」を合わせた《高充実度層》を大きく上回っている。

## 7. 充実した生活を送るための条件

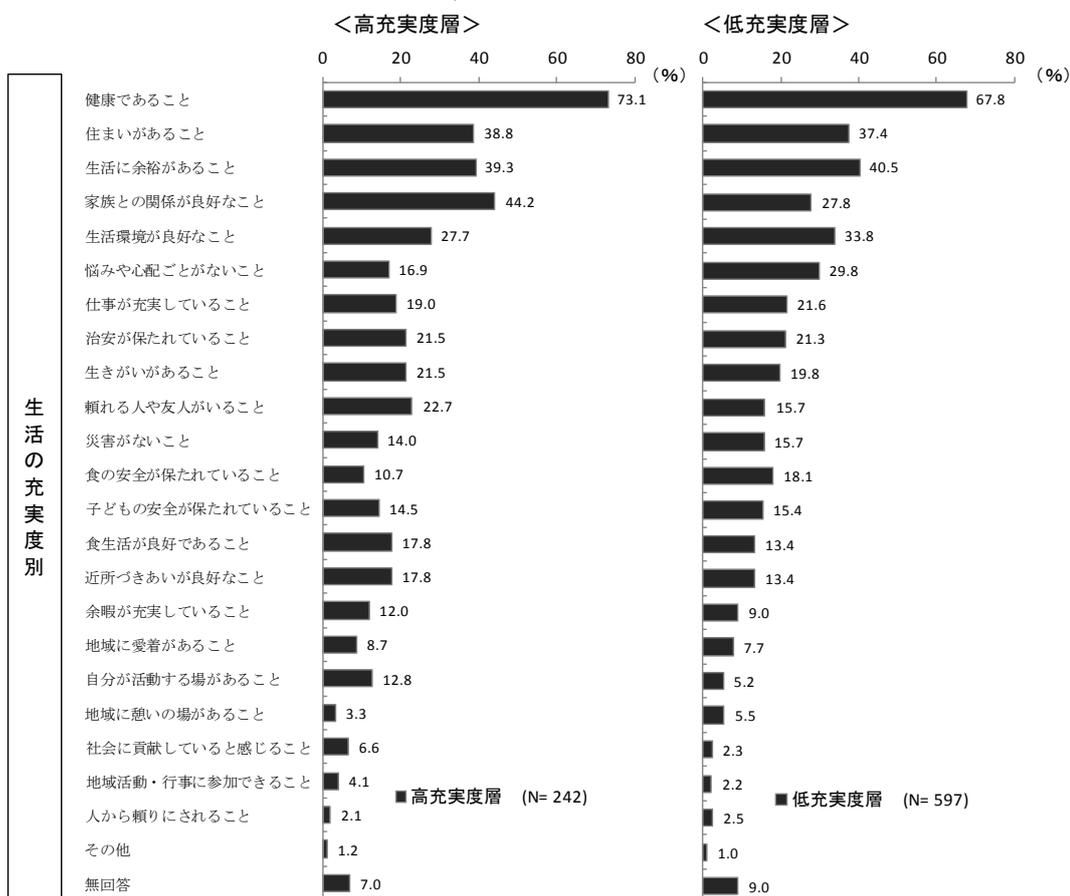
充実した生活を送るために必要な条件は「健康であること」が最も多い。

《高充実度層》は「家族との関係が良好なこと」、「頼れる人や友人がいること」、「自分が活動する場があること」を生活の充実のために重視している。



※上位5項目

各項目を  
生活の充実度別にみると…



充実した生活を送るために必要な条件については、「健康であること」が68.4%と最も多く、次いで「住まいがあること」(39.5%)となっている。

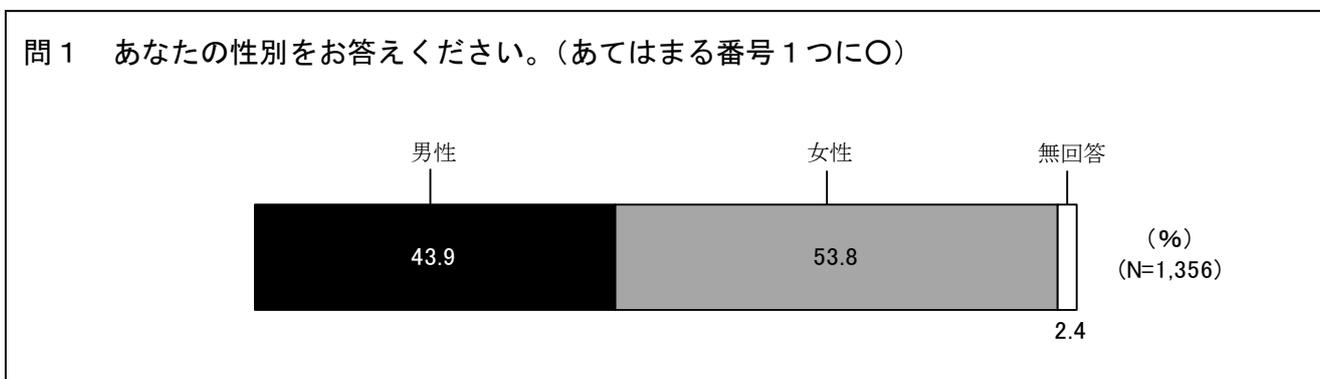
生活の充実度別にみると、《高充実度層》は「家族との関係が良好なこと」、「頼れる人や友人がいること」、「自分が活動する場があること」が《低充実度層》に比べ多くなっている。このことから、生活が充実している層はこれらの条件を生活の充実のために重視していることがわかる。

一方、《低充実度層》は「悩みや心配ごとがないこと」や「食の安全が保たれていること」が《高充実度層》に比べ多くなっている。

## Ⅲ 調査結果の詳細

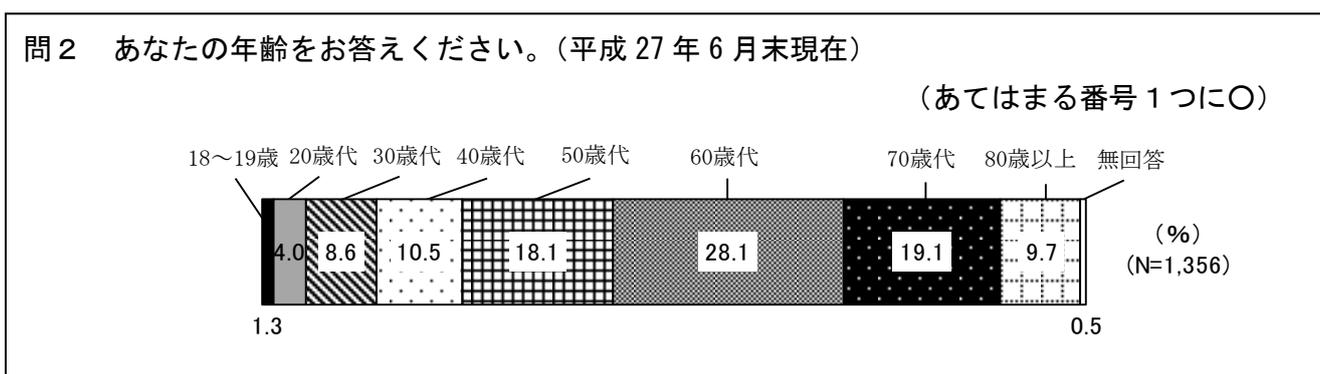
### 1. 回答者のプロフィール

#### (1) 性別



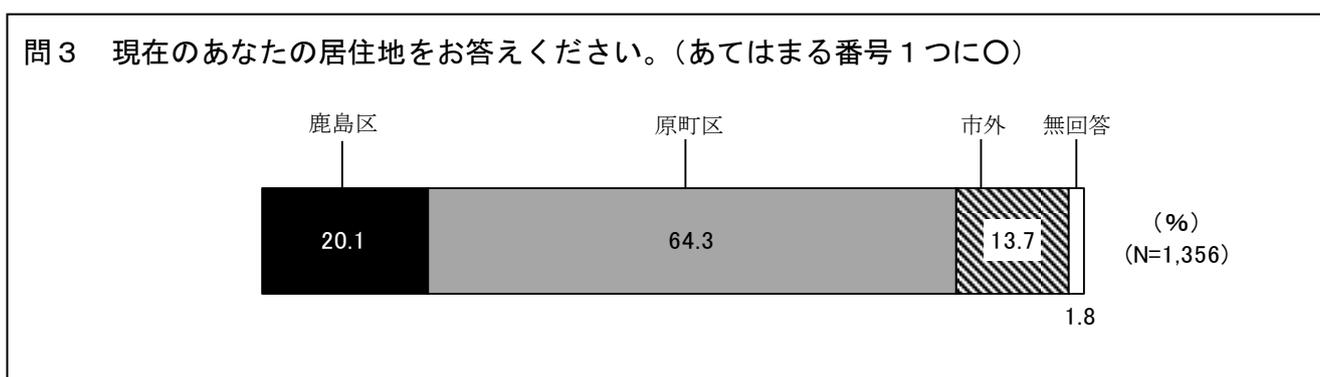
回答者の性別は、男性が43.9%、女性が53.8%となっている。

#### (2) 年齢



回答者の年齢は、60歳代の回答が最も多く28.1%となっており、60歳以上の高齢者が全体の約半数を占める。

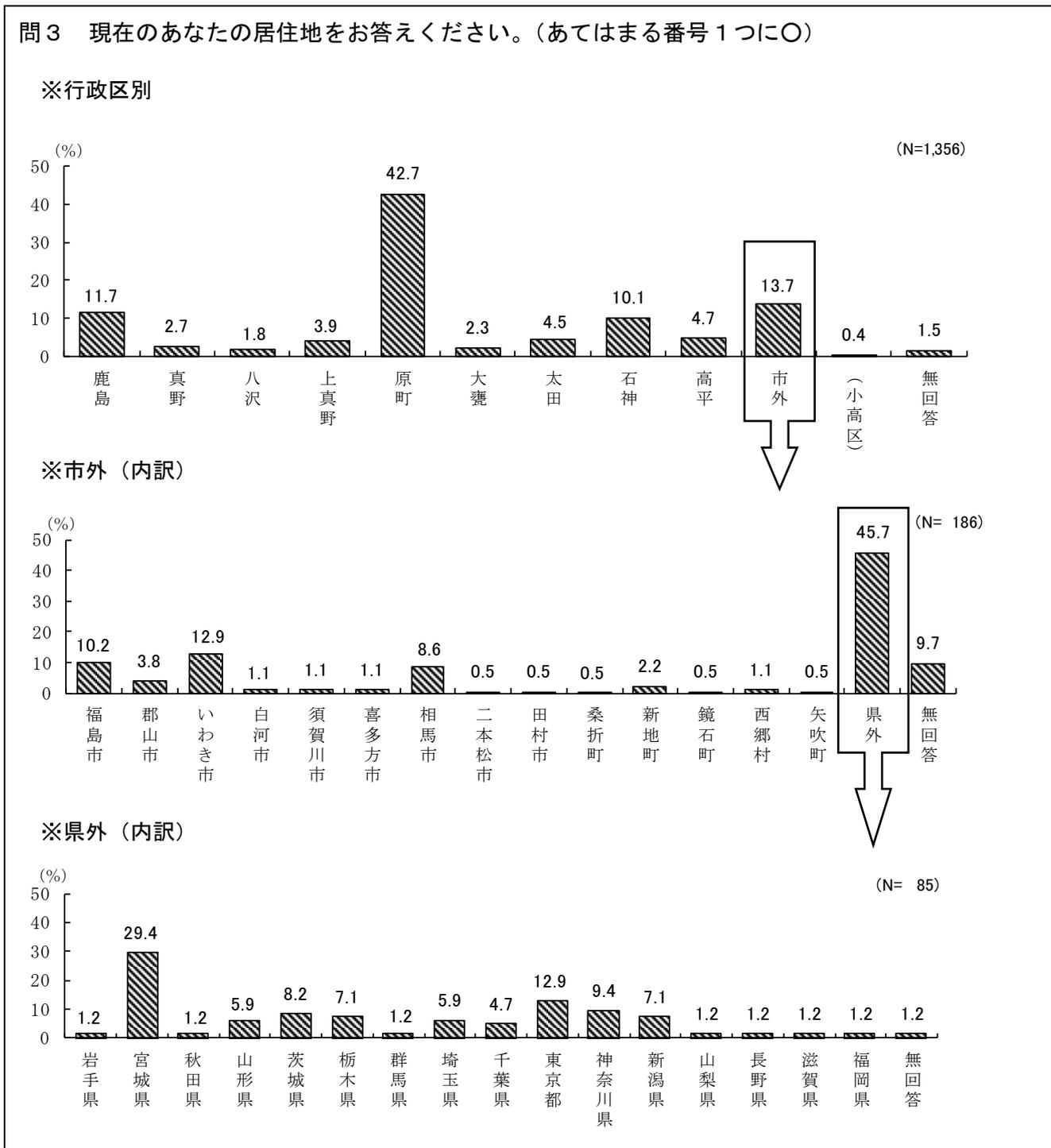
#### (3) 現在の居住地



---

現在は、「原町区」居住者が 64.3%と多く、6 割以上を占める。

(3) 現在の居住地 (つづき)

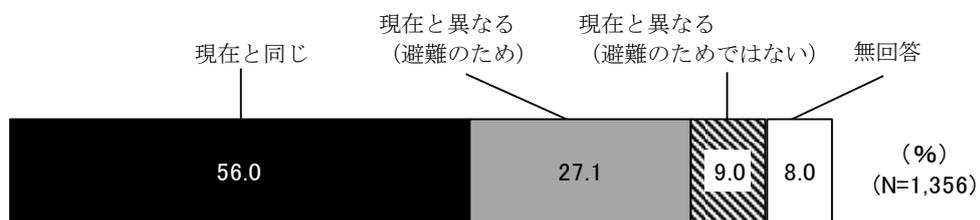


現在の居住地については、「原町」が42.7%と最も多く、「市外」居住者は1割強となっている。市外と回答した方の居住地を見ると、「県外」(45.7%)が約半数を占めており、福島県内居住地では「いわき市」(12.9%)、「福島市」(10.2%)が多い。県外居住者の内訳をみると、「宮城県」が29.4%と最も多く、次いで「東京都」(12.9%)、「神奈川県」(9.4%)となっている。

#### (4) 震災前の居住地

##### ①居住地の変化

問4 震災前の居住地は現在と異なりますか。(あてはまる番号1つに○)

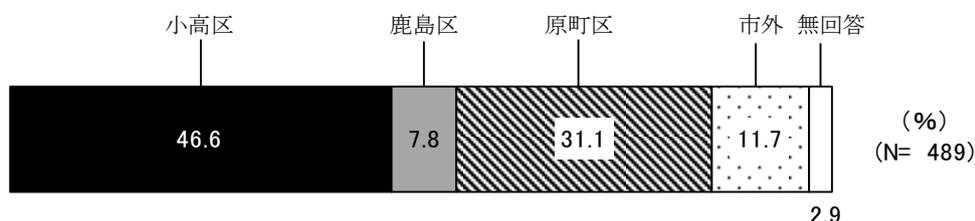


震災前との居住地の変化について、「現在と同じ」と回答した人が 56.0%と全体の6割弱を占めており、「現在と異なる (避難のため)」と回答した人は約3割 (27.1%)となっている。

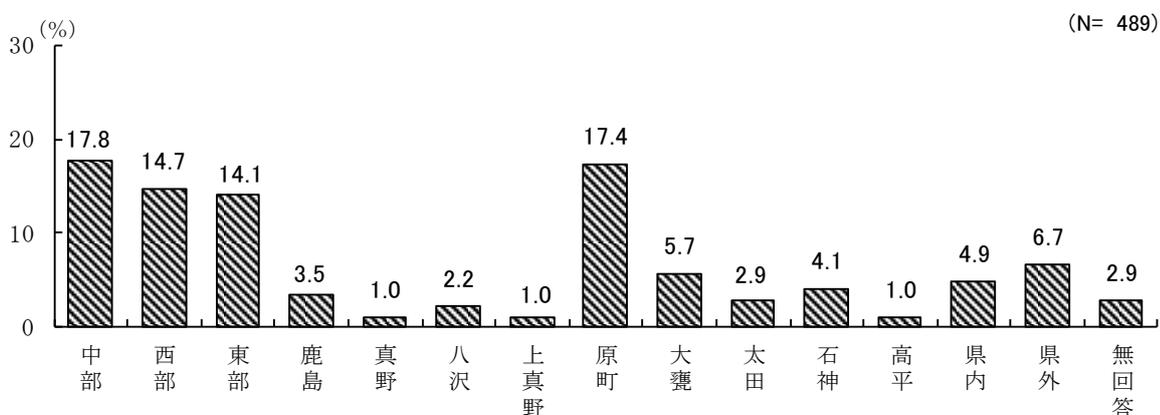
②震災前の居住地

【問4で「現在と異なる」(「2」または「3」)と回答した方におたずねします。】

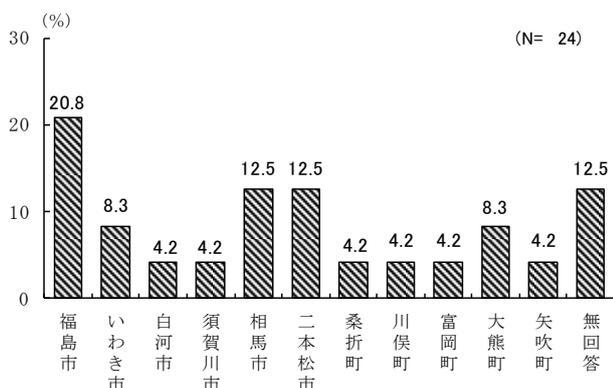
問4-1 震災前の居住地をお答えください。(あてはまる番号1つに○)



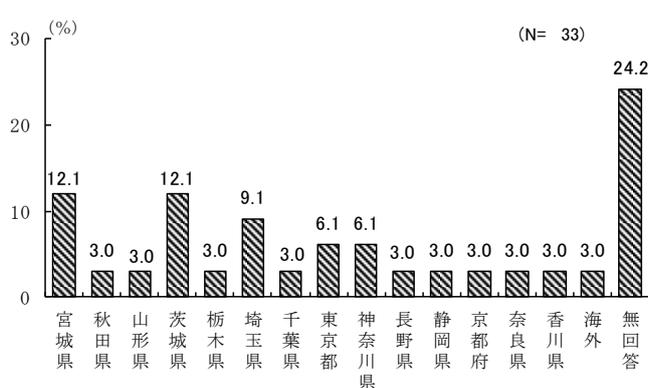
※行政区別



※県内市町村 (内訳)



※県外 (内訳)

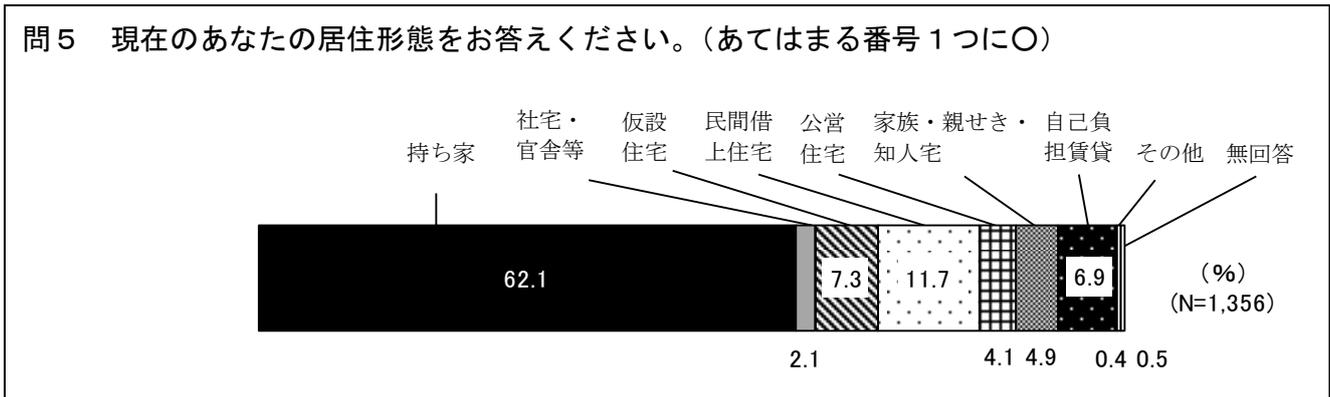


震災前と現在の居住地が異なる方の震災前の居住地は、「小高区」が46.6%と最も多く、次いで原町区が31.1%となっている。

行政区別では、「中部」が17.8%と最も多く、他「原町」(17.4%)、「西部」(14.7%)、「東部」(14.1%)が1割を超えている。

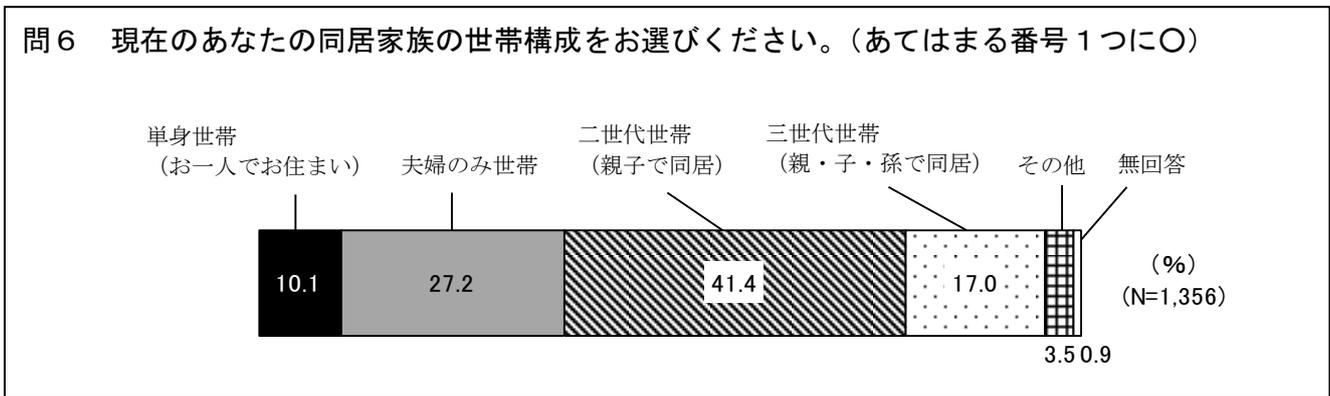
南相馬市以外の県内居住地は、「福島市」(20.8%)、「相馬市」(12.5%)、「二本松市」(12.5%)が多く、県外居住地は「宮城県」及び「茨城県」(12.1%)が最も多い。

(5) 現在の居住形態



居住形態について、「持ち家」が62.1%と過半数となっている。

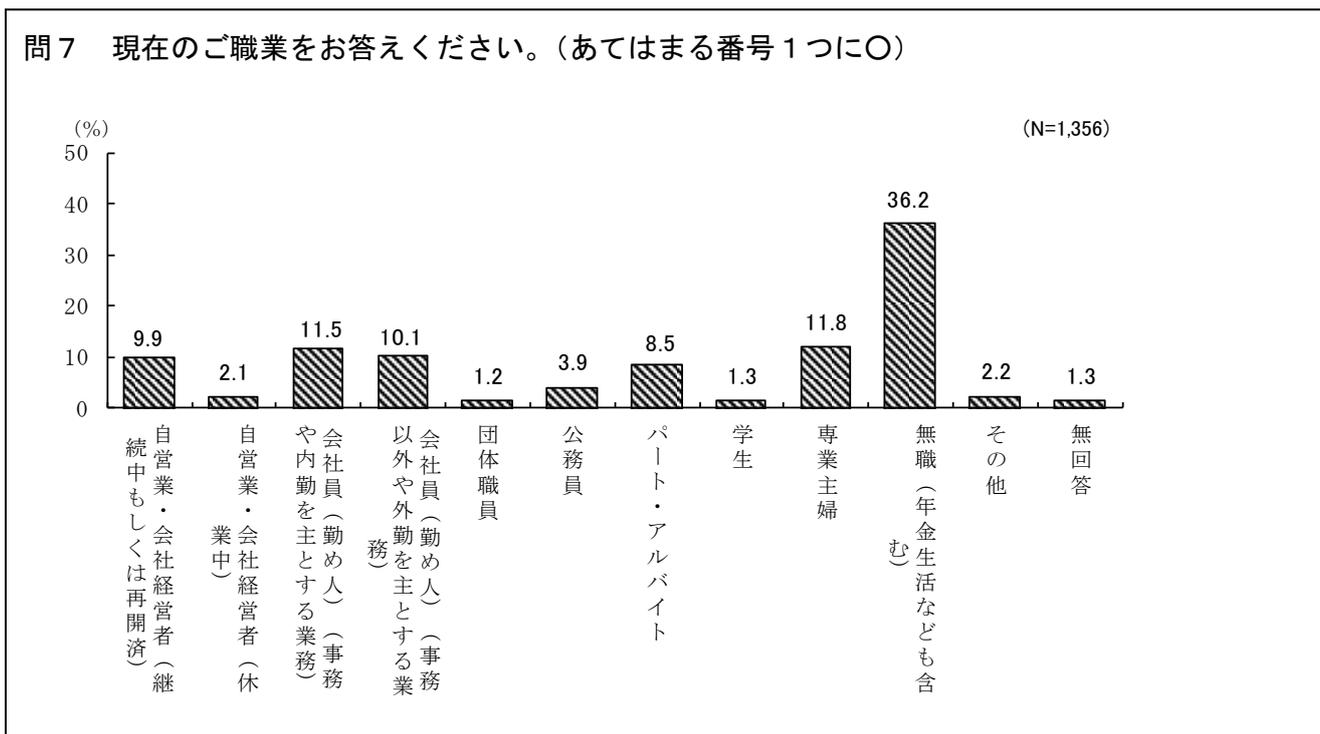
(6) 世帯構成



同居家族の世帯構成では「二世帯世帯 (親子で同居)」が最も多く 41.4%、次いで「夫婦のみ世帯」が 27.2%となっている。

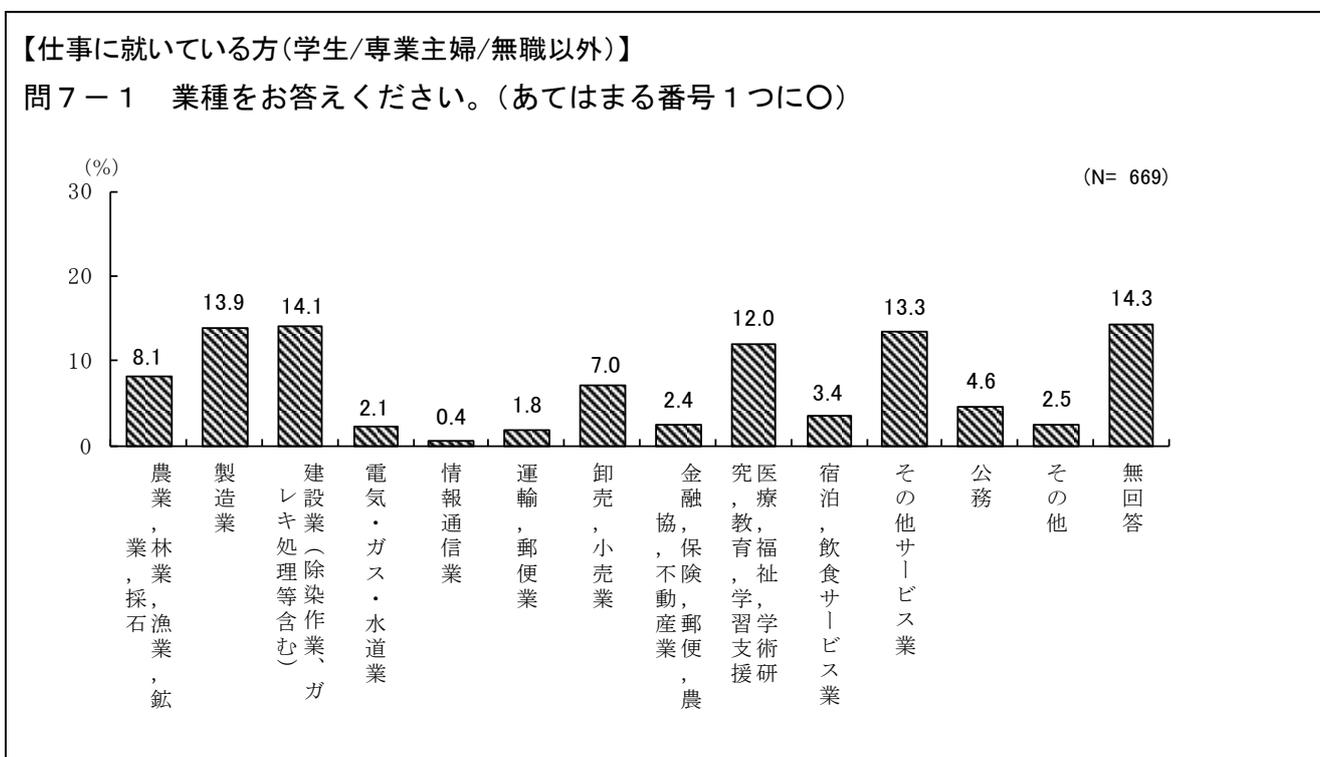
(7) 職業

①職業（現在）



職業について、「無職」が36.2%と最も多く4割弱となっている。

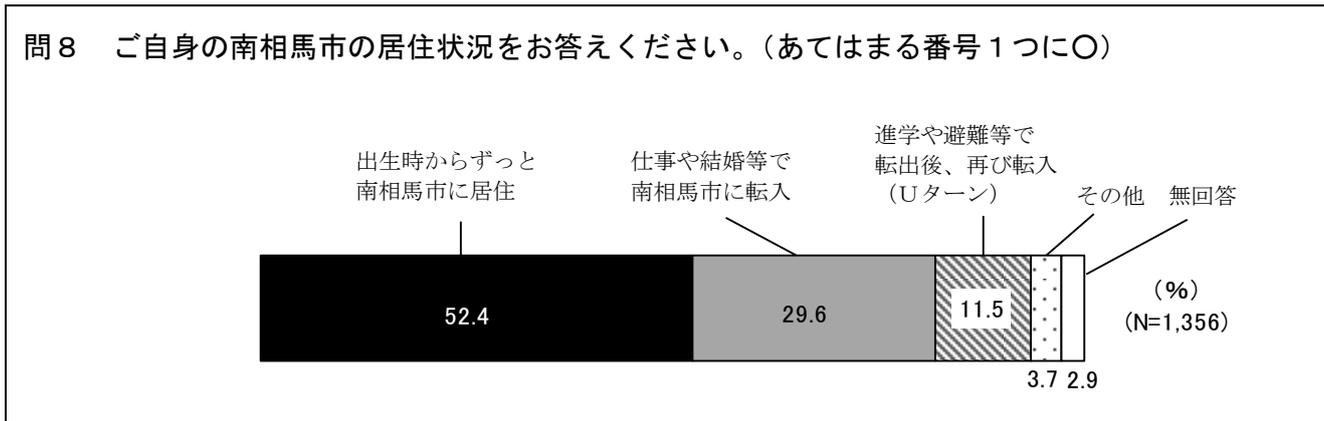
②業種



仕事についている人(学生・専業主婦・無職以外)の業種は、「建設業」が14.1%と最も多く、次いで「製造業」が13.9%となっている。

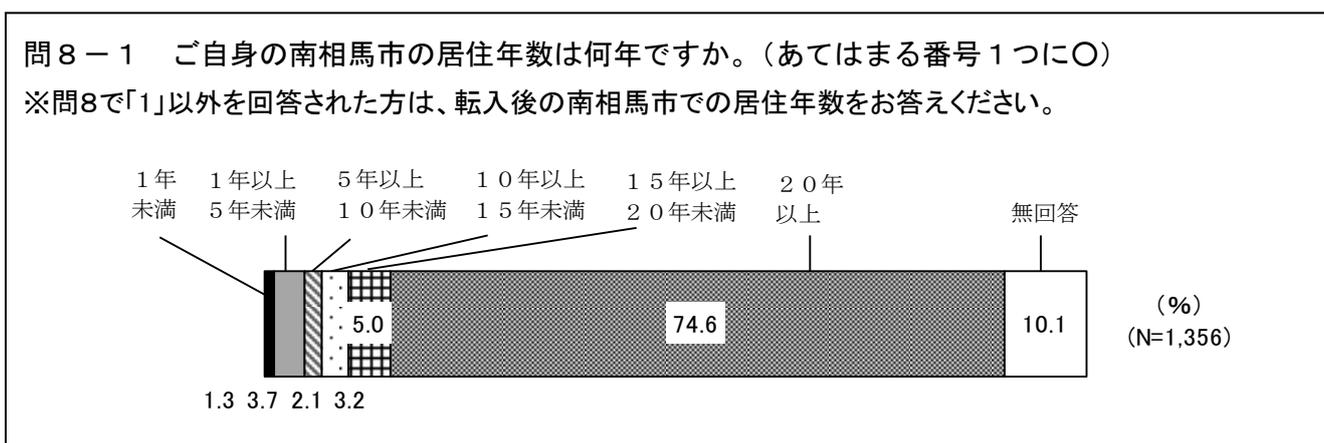


(8) 居住状況



南相馬市の居住状況について、「出生時からずっと南相馬市に居住」が 52.4%と過半数であり、次いで「仕事や結婚等で南相馬市に転入」が 29.6%となっている。

(9) 居住年数

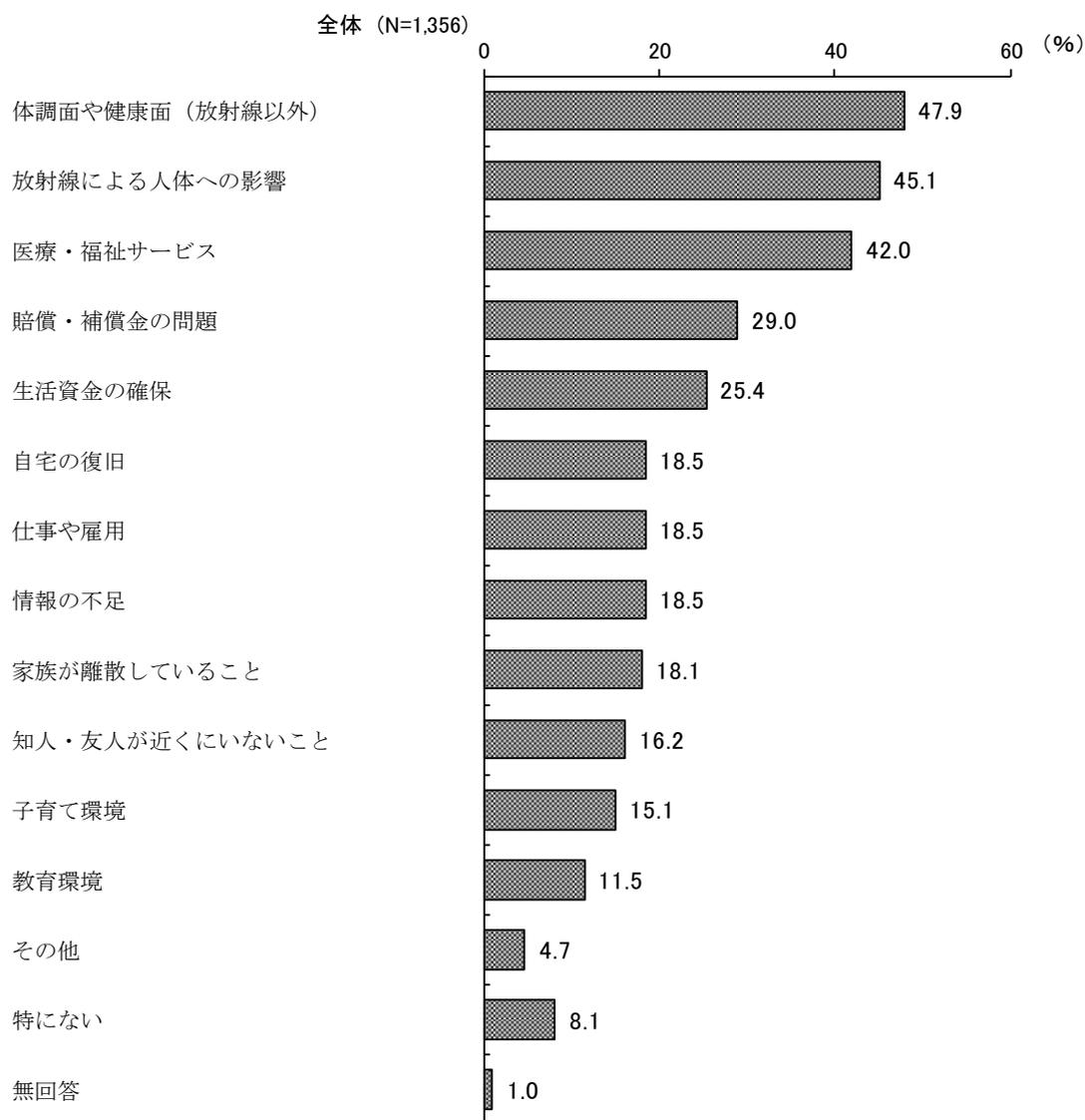


南相馬市の居住年数について、「20年以上」が 74.6%と最も多く、以下「15年以上20年未満」が 5.0%、「1年以上5年未満」が 3.7%となっており、20年以上の長期にわたり南相馬市に居住している人が多い。

## 2. 生活の不安・心配

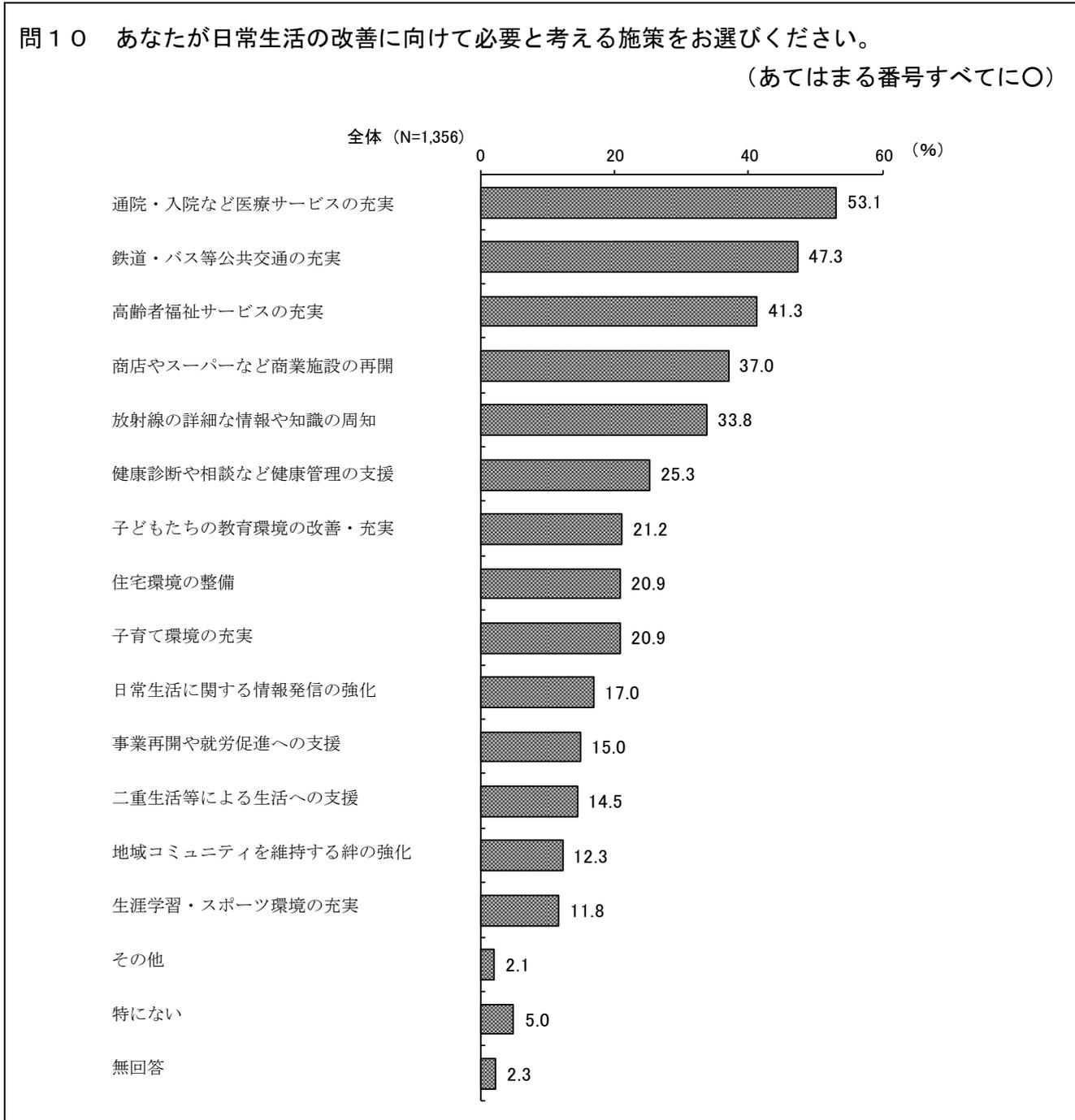
問9 あなたは現在の生活の中で、不安や心配を抱えていることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)



生活で抱えている不安や心配は「体調面や健康面 (放射線以外)」が 47.9%と最も多く、次いで「放射線による人体への影響」が 45.1%、「医療・福祉サービス」が 42.0%となっている。

### 3. 生活改善に必要な施策

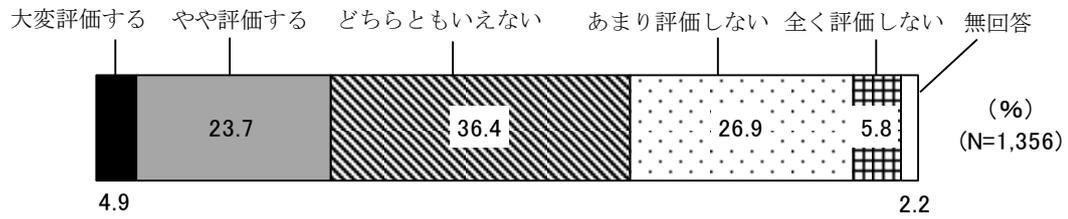


日常生活の改善に必要な施策について、「通院・入院など医療サービスの充実」が53.1%と最も多く、次いで「鉄道・バス等公共交通の充実」(47.3%)、「高齢者福祉サービスの充実」(41.3%)となっている。「鉄道・バス等公共交通の充実」は今回調査で新設した項目だが、トップ項目である「通院・入院など医療サービスの充実」に次いで回答が多くなっており、市民の公共交通へのニーズの高さがうかがえる。

#### 4. 復興取組の総合評価

問 1 1 南相馬市の、復興への取組に対する総合的な評価はいかがですか。

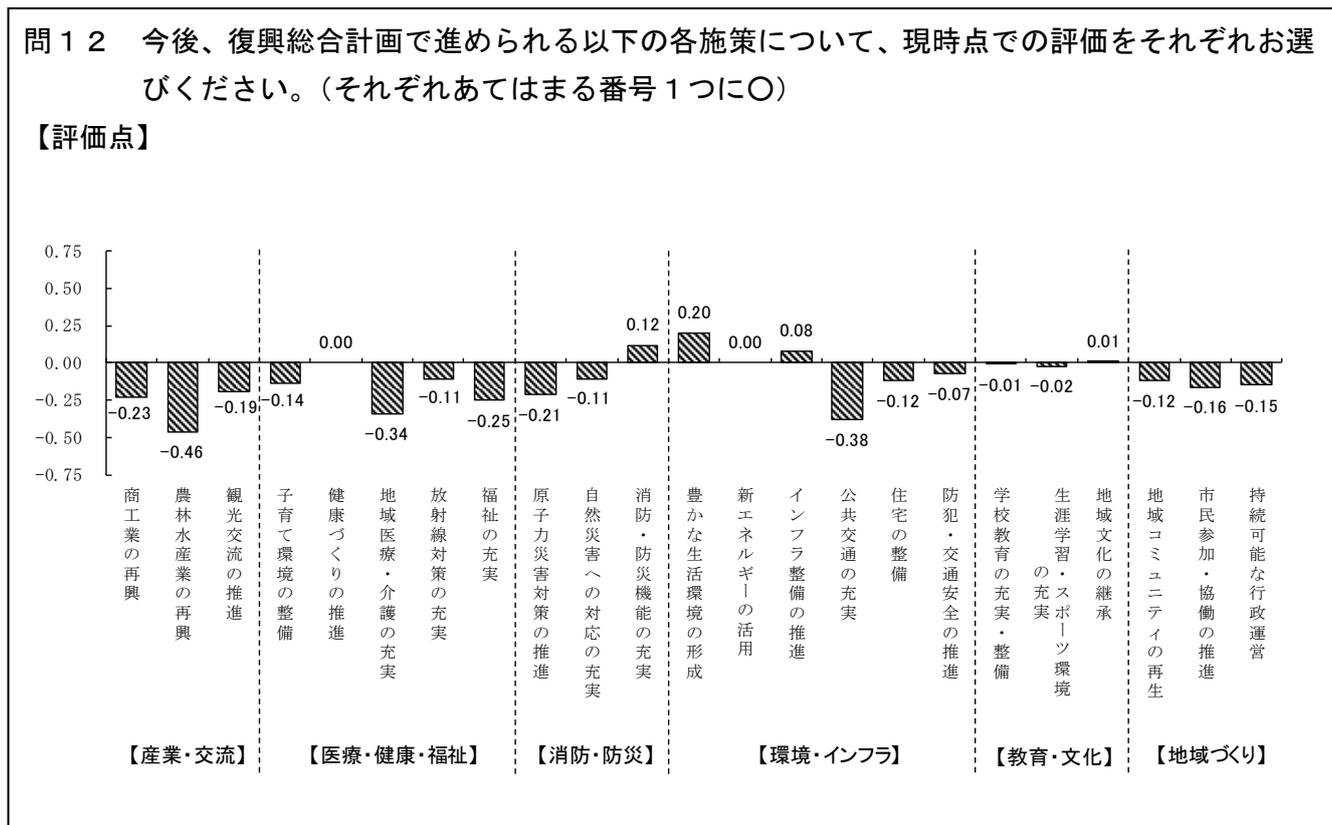
(あてはまる番号 1 つに○)



南相馬市の復興への取り組みに対する評価は、「どちらともいえない」が 36.4%と最も多い。

「全く評価しない」(5.8%)、「あまり評価しない」(26.9%)を合わせた《低評価層》は全体の約3割を占めており、「大変評価する」(4.9%)と「やや評価する」(23.7%)を合せた《高評価層》を上回っている。

5. 各施策の評価



各施策の評価について、選択肢ごとに以下の点数を付与し、その合計を回答数（無回答を除く）で除することで評価点を算出した。

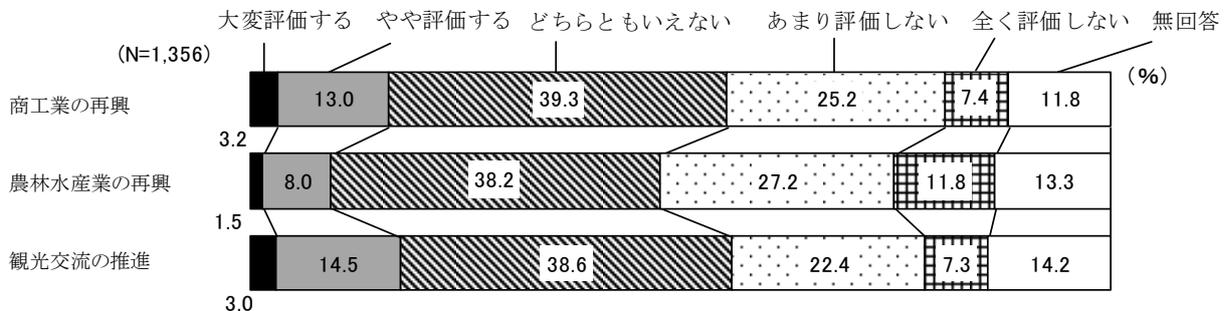
- 「大変評価する」：2点、「やや評価する」：1点、
- 「どちらともいえない」：0点、
- 「あまり評価しない」：-1点、「全く評価しない」：-2点、「無回答」：点数の付与はしない

この結果、評価点がプラスになった項目は、「消防・防災機能の充実」、「豊かな生活環境の形成」、「インフラ整備の推進」、「地域文化の継承」であり、これらの項目は評価が高いことがわかる。

一方、これ以外の項目は評価点が0点あるいはマイナスとなり、特に「農林水産業の再興」、「地域医療・介護の充実」、「公共交通の充実」は大きなマイナスで評価が低くなっている。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

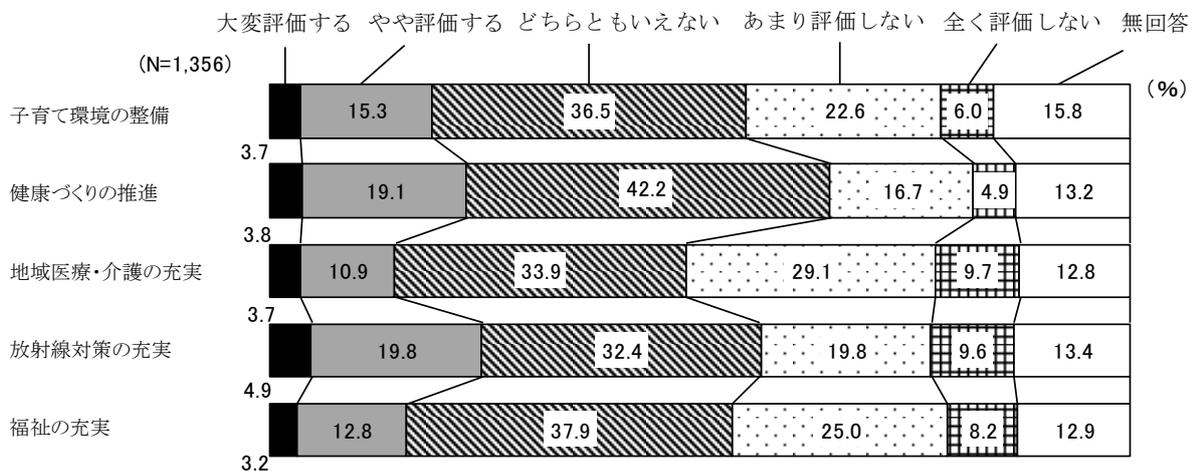
【産業・交流】



産業・交流については、全ての項目で《低評価層》が《高評価層》を上回っている。特に、「農林水産業の再興」は《低評価層》が約 4 割と評価が低くなっている。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

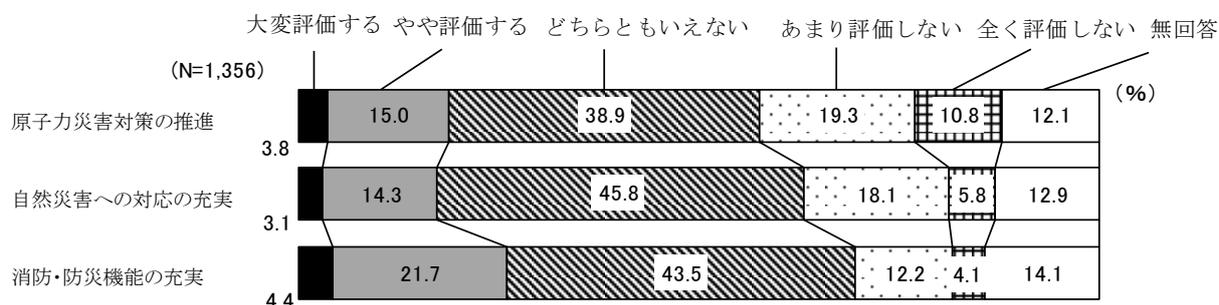
【医療・健康・福祉】



医療・健康・福祉については、「健康づくりの推進」で《高評価層》が《低評価層》を上回っているが、それ以外の項目は《低評価層》が《高評価層》を上回っている。特に、「地域医療・介護の充実」は《低評価層》が約 4 割と評価が低くなっている。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

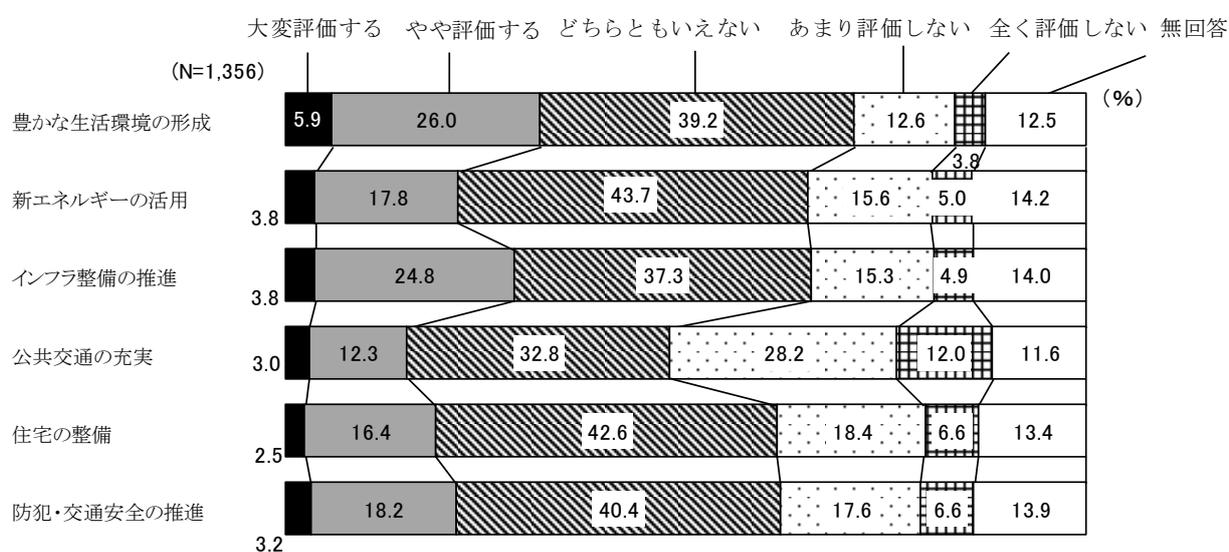
【消防・防災】



消防・防災については、「消防・防災機能の充実」で《高評価層》が《低評価層》を上回っているが、それ以外の項目は《低評価層》が《高評価層》を上回っている。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

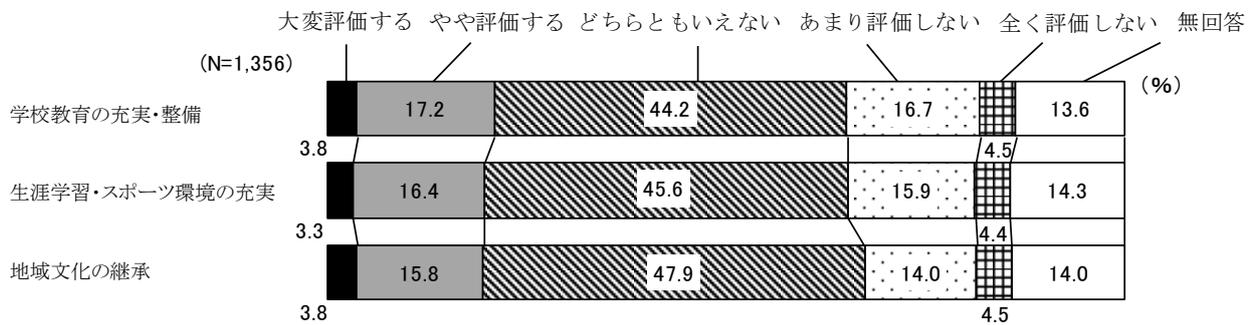
【環境・インフラ】



環境・インフラについては、「豊かな生活環境の形成」、「新エネルギーの活用」、「インフラ環境の整備」で《高評価層》が《低評価層》を上回っている。一方、「公共交通の充実」は《低評価層》が約4割と評価が低い。

問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

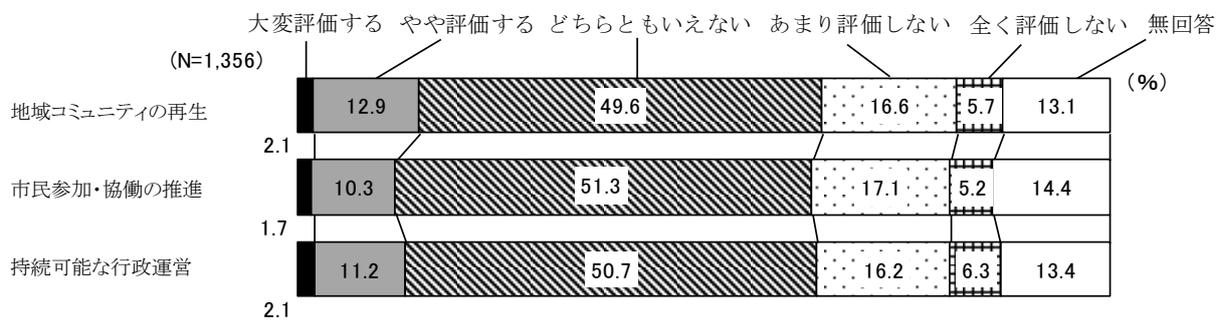
【教育・文化】



教育・文化については、「地域文化の継承」で《高評価層》が《低評価層》を上回っているが、それ以外の項目は《低評価層》が《高評価層》を上回っている。

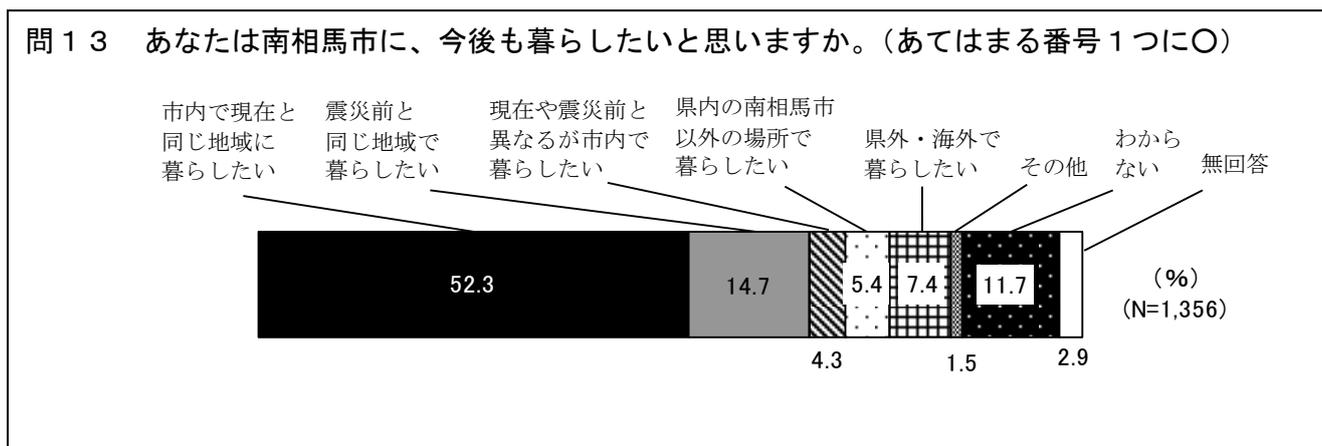
問 1 2 今後、復興総合計画で進められる以下の各施策について、現時点での評価をそれぞれお選びください。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

【地域づくり】



地域づくりについては、全ての項目において《低評価層》が《高評価層》を上回っている。

6. 今後の定住意向

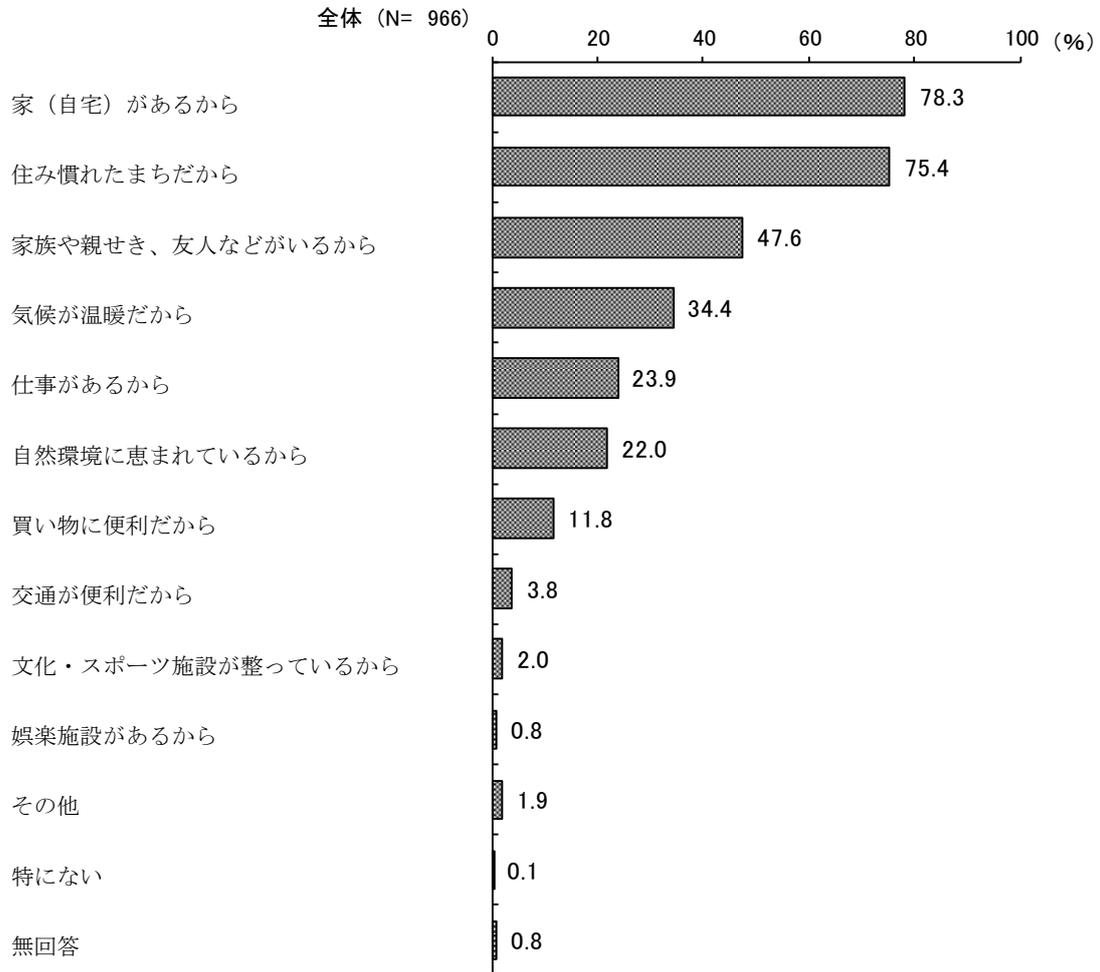


今後の南相馬市での定住意向について、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」との回答が 52.3%と最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」(14.7%)、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」(4.3%)を合わせると、市内での定住を希望する人は全体の約7割となっている。

## 7. 南相馬市に居住し続けたい理由

【問13で市内で暮らしたい(「1」～「3」)と回答した方におたずねします。】

問13-1 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

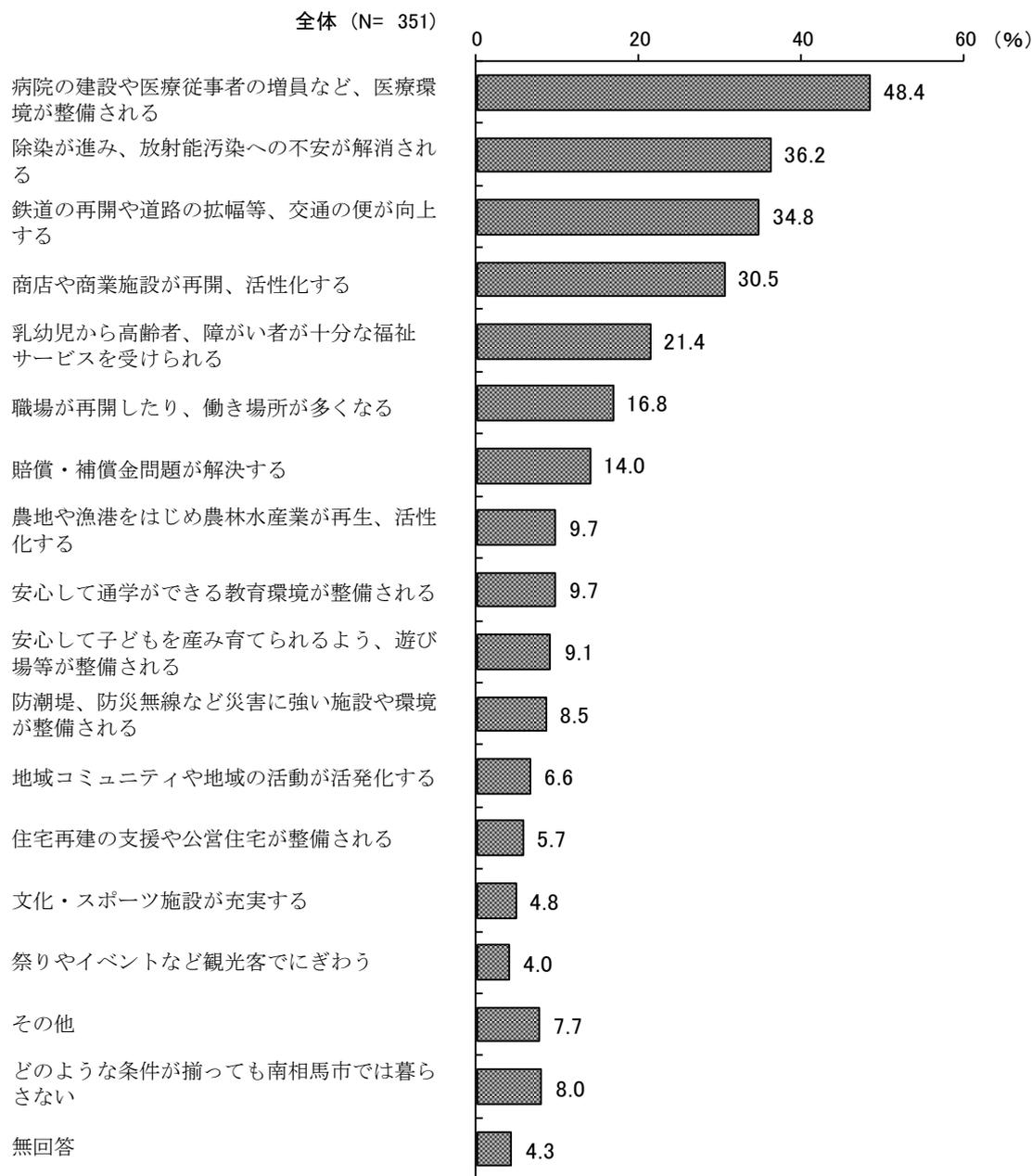


今後市内での居住を希望する人に、その理由をたずねたところ、「家(自宅)があるから」(78.3%)、「住み慣れたまちだから」(75.4%)との回答が多く、ともに7割以上となっている。

## 8. 南相馬で暮らすための条件

【問13で市外で暮らしたい、わからない(「4」~「7」)と回答した方におたずねします。】

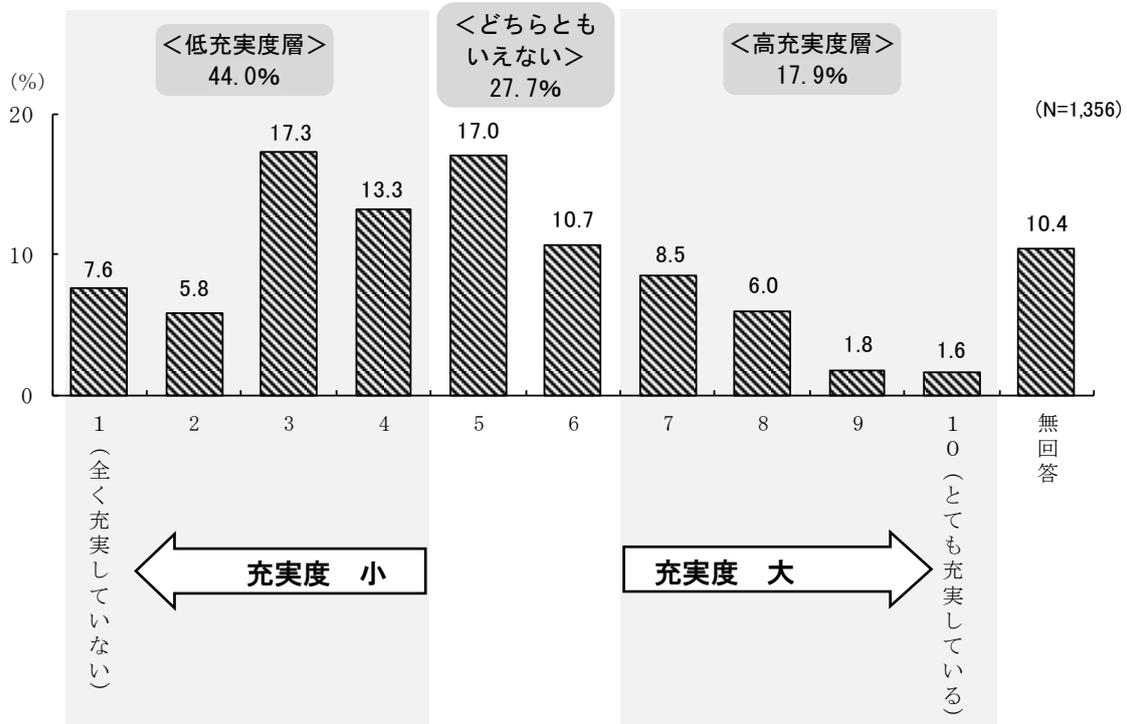
問13-2 どのようなまちになったら(条件が揃ったら)、南相馬市で暮らしたいと思いますか。  
(特にそう思うもの3つまで○)



今後の居留意向について市外で暮らしたい、わからないと回答した人に南相馬で暮らすための条件をたずねたところ、「病院の建設や医療従事者の増員など、医療環境が整備される」が48.4%と最も多く、次いで「除染が進み、放射能汚染への不安が解消される」が36.2%となっている。

## 9. 生活の充実度

問14-1 現在あなたの生活は充実していますか。(あてはまる番号1つに○)



生活の充実度について、「1（全く充実していない）」から「10（とても充実している）」の10段階でたずねたところ、「1（全く充実していない）」から「4」を合わせた《低充実度層》が全体の4割以上を占めており、「7」から「10（とても充実している）」を合わせた《高充実度層》を大きく上回っている。

また、生活の充実度について、「1（全く充実していない）」から「10（とても充実している）」の選択肢ごとに以下のウェイト値を付与し、その合計を回答数（無回答を除く）で除することで点数を算出した。

「1」：0.909…、「2」：1.818…、「3」：2.727…、「4」：3.636…、「5」：4.545…、  
「6」：5.454…、「7」：6.363…、「8」：7.272…、「9」：8.181…、「10」：9.090…

※平均が5点となるようにウェイト値を付与

この結果、当調査結果の点数は **4.19** 点で、平均点（5点）を下回っており、市民の生活の充実度が低いことがわかる。

10. 充実した生活を送るための条件

問14-2

① あなたにとって、充実した生活を送るために必要な条件はどんなことですか。

選択肢欄より、重要だと思う順に5つまで選び①の回答欄にご記入ください。

② ①で選択した項目は、現在満たされて（充実して）いますか。

②の回答欄のあてはまる番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

【必要な条件（第1位～第5位の合算）】



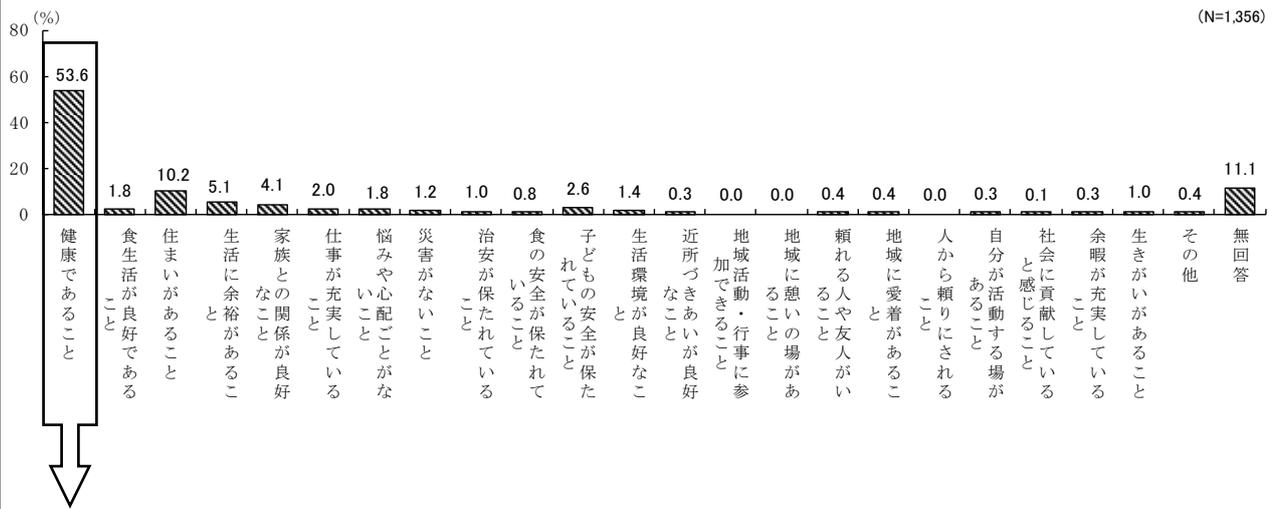
充実した生活を送るために必要な条件について、重要だと思う順に第1位～第5位までを選んでももらったところ、第1位～第5位の合算としては、「健康であること」が68.4%と最も多く、次いで「住まいがあること」(39.5%)、「生活に余裕があること」(36.9%)、「家族との関係が良好なこと」(32.9%)、「生活環境が良好なこと」(29.6%)となっている。

問14-2

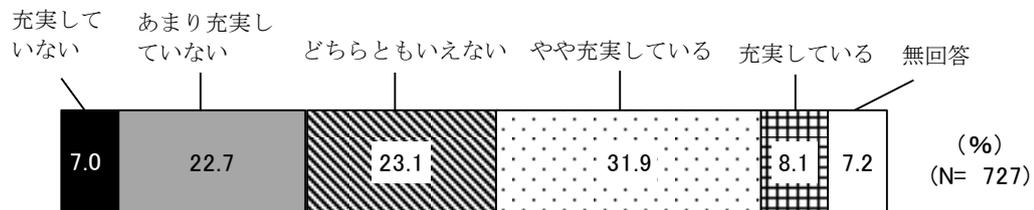
① あなたにとって、充実した生活を送るために必要な条件はどんなことですか。  
 選択肢欄より、重要だと思う順に5つまで選び①の回答欄にご記入ください。

② ①で選択した項目は、現在満たされて（充実して）いますか。  
 ②の回答欄のあてはまる番号に、それぞれ1つずつ〇をつけてください。

【必要な条件（第1位）】



【最も必要な条件（健康であること）の充実度】

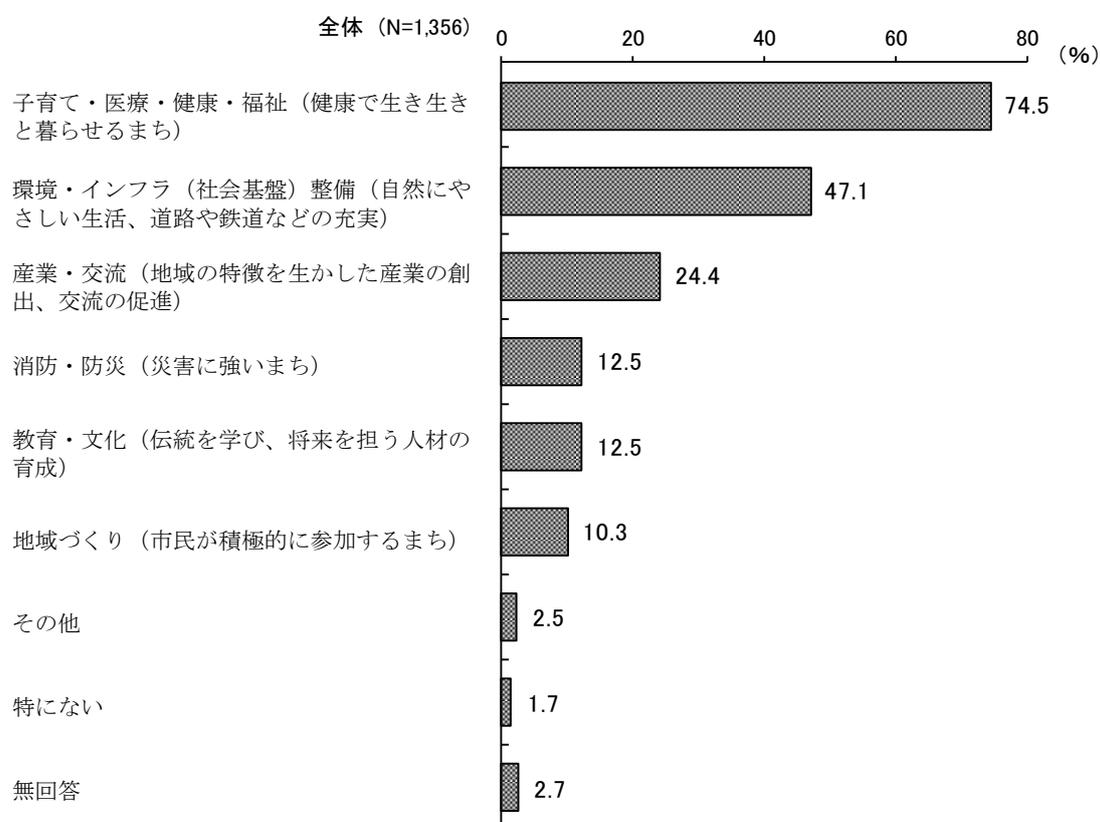


充実した生活を送るために必要な条件について、第1位として選ばれた項目としては、「健康であること」が53.6%と突出しており、次いで「住まいがあること」(10.2%)、「生活に余裕があること」(5.1%)となっている。

また、充実した生活を送るために最も重要だと思うことについて、現在充実しているかをたずねたところ、第1位として選ばれた項目で最も回答数が多い「健康であること」は、「やや充実している」が31.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.1%、「あまり充実していない」が22.7%となっている。「充実している」および「やや充実している」の合算は40.0%、「あまり充実していない」および「充実していない」の合算が29.7%であり、「健康であること」は充実しているとの回答が多い。

11. 力を入れるべき施策分野

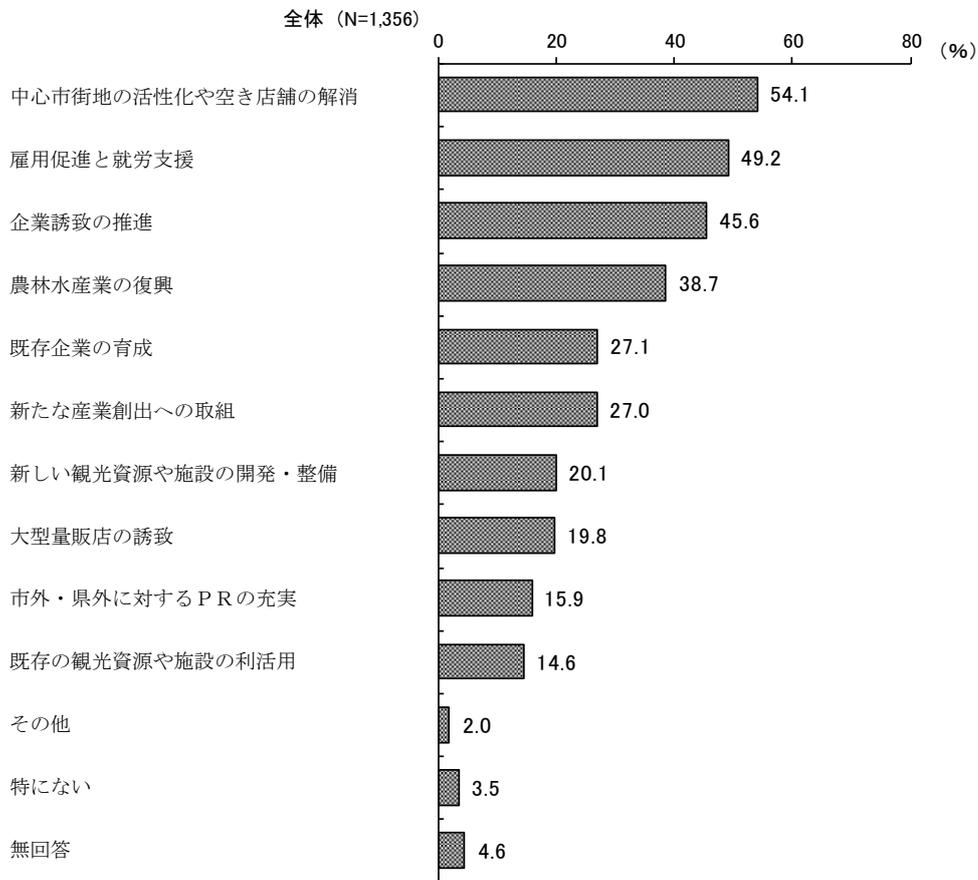
問15 今後、南相馬市が取り組む施策のうち、特に力を入れるべき分野・事項についてお答えください。(特にそう思うもの2つまで○)



南相馬市が取り組む施策で力を入れるべき分野・事項について、「子育て・医療・健康・福祉 (健康で生き生きと暮らせるまち)」が 74.5%と最も多く、次いで「環境・インフラ (社会基盤) 整備 (自然にやさしい生活、道路や鉄道などの充実)」が 47.1%となっている。

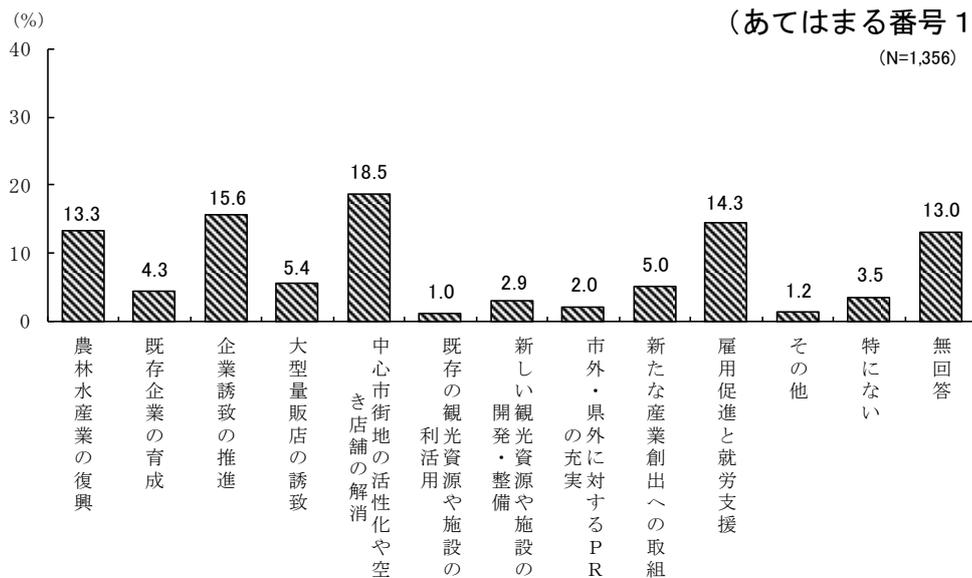
## 12. 【産業・交流】力を入れるべき事項

問16 今後、南相馬市が取り組む施策「産業・交流」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



問16-1 問16でお答えになったもののうち、最も力を入れるべき事項は何ですか。

(あてはまる番号1つを記入)

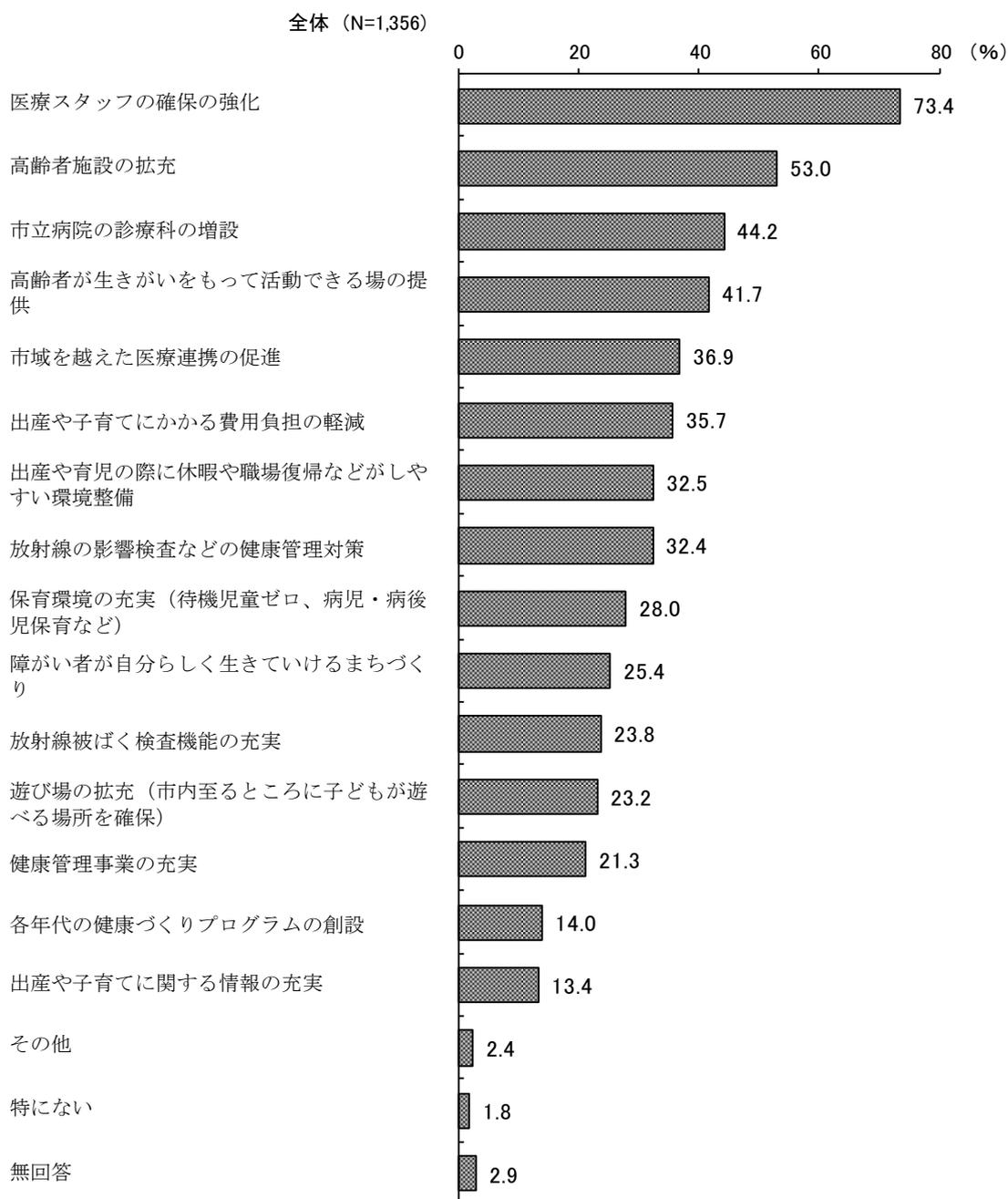


南相馬市が取り組む施策「産業・交流」で力を入れるべき事項については、「中心市街地の活性化や空き店舗の解消」が54.1%と最も多く、次いで「雇用促進と就労支援」が49.2%となっている。

最も力を入れるべき事項も同様に、「中心市街地の活性化や空き店舗の解消」が18.5%と最も多い。

13. 【子育て・医療・健康・福祉】力を入れるべき事項

問17 今後、南相馬市が取り組む施策「子育て・医療・健康・福祉」について、力を入れるべき事項についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

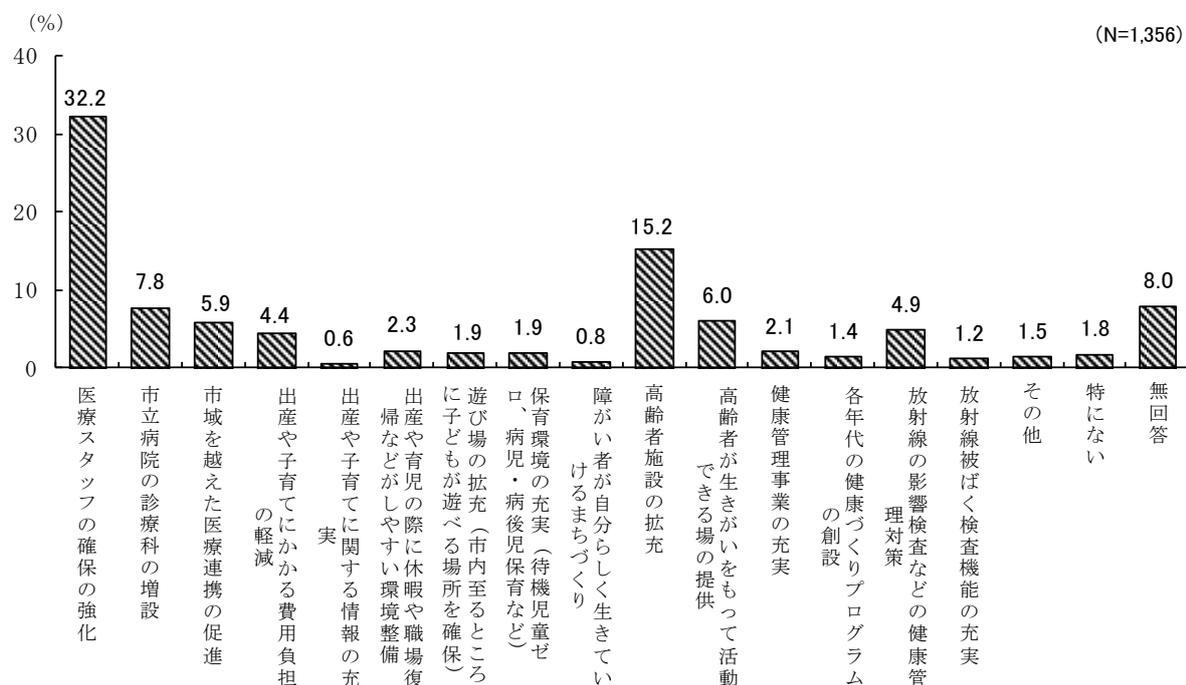


南相馬市が取り組む施策「子育て・医療・健康・福祉」で力を入れるべき事項については、「医療スタッフの確保の強化」が73.4%と最も多くなっている。

### 13. 【子育て・医療・健康・福祉】力を入れるべき事項（つづき）

問17-1 問17でお答えになったもののうち、最も力を入れるべき事項は何ですか。

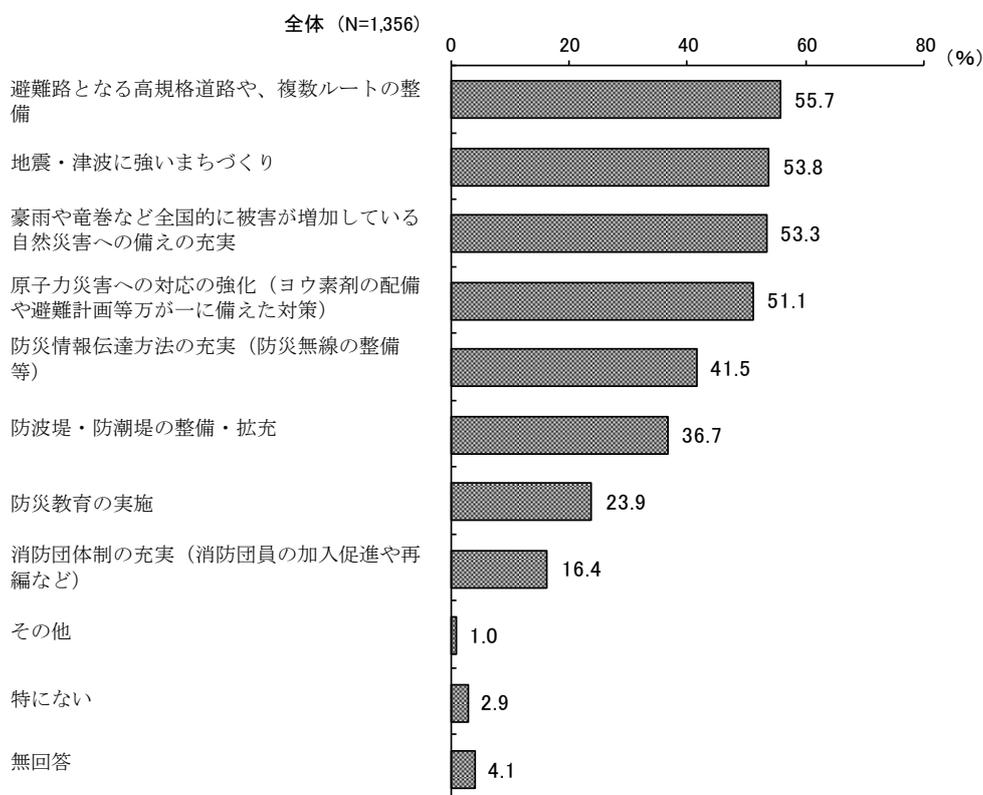
（あてはまる番号1つを記入）



最も力を入れるべき事項も同様に、「医療スタッフの確保の強化」が32.2%と最も多い。

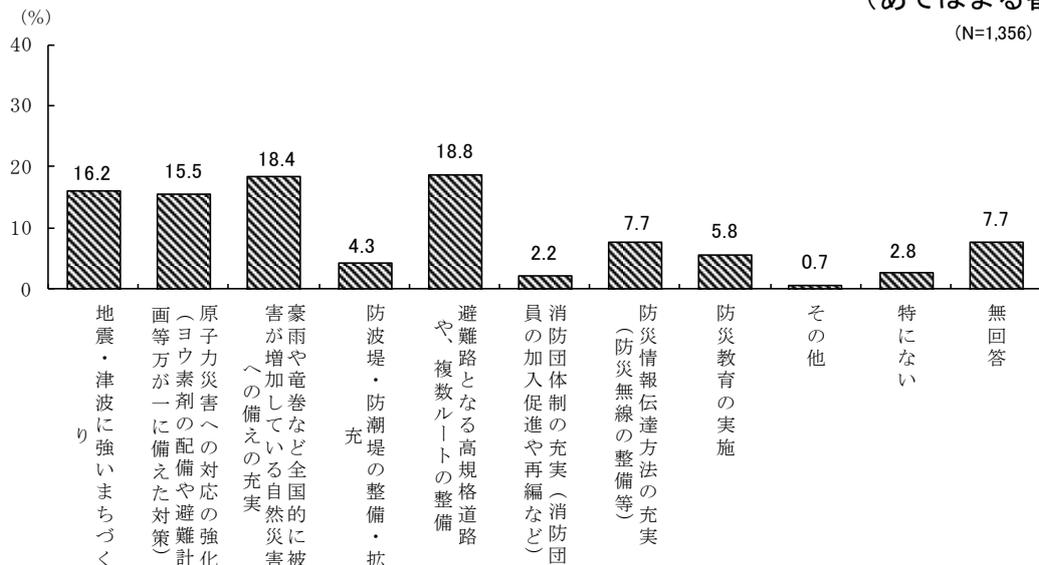
14. 【消防・防災】力を入れるべき事項

問18 今後、南相馬市が取り組む施策「消防・防災」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



問18-1 問18でお答えになったもののうち、最も力を入れるべき事項は何ですか。

(あてはまる番号1つを記入)



南相馬市が取り組む施策「消防・防災」で力を入れるべき事項については、「避難路となる高規格道路や複数ルートの整備」が 55.7%と最も多く、次いで「地震・津波に強いまちづくり」(53.8%)、「豪雨や竜巻など全国的に被害が増加している自然災害への備えの充実」(53.3%)となっている。

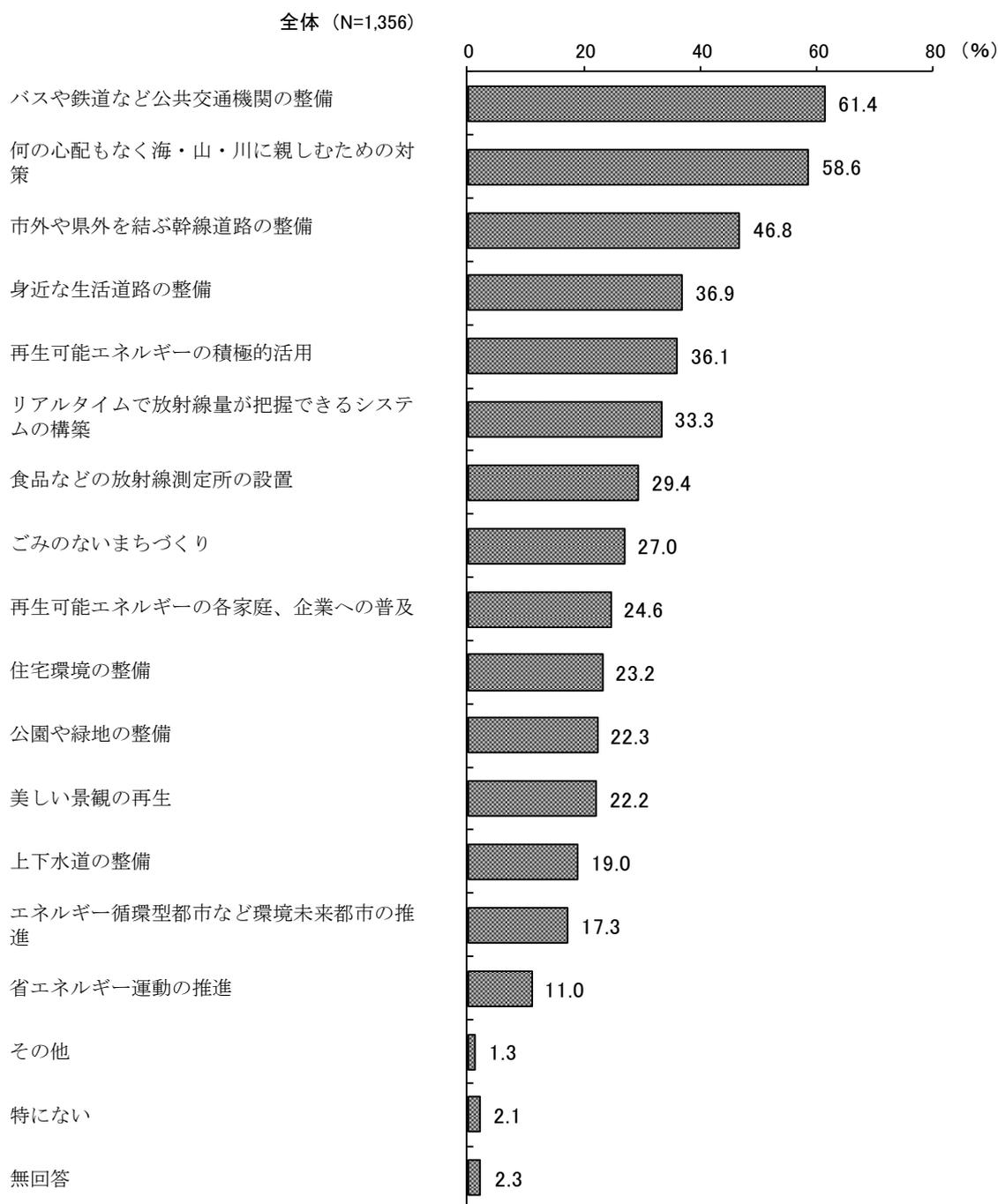
最も力を入れるべき事項も同様に、「避難路となる高規格道路や、複数ルートの整備」が 18.8%と最

---

も多い。

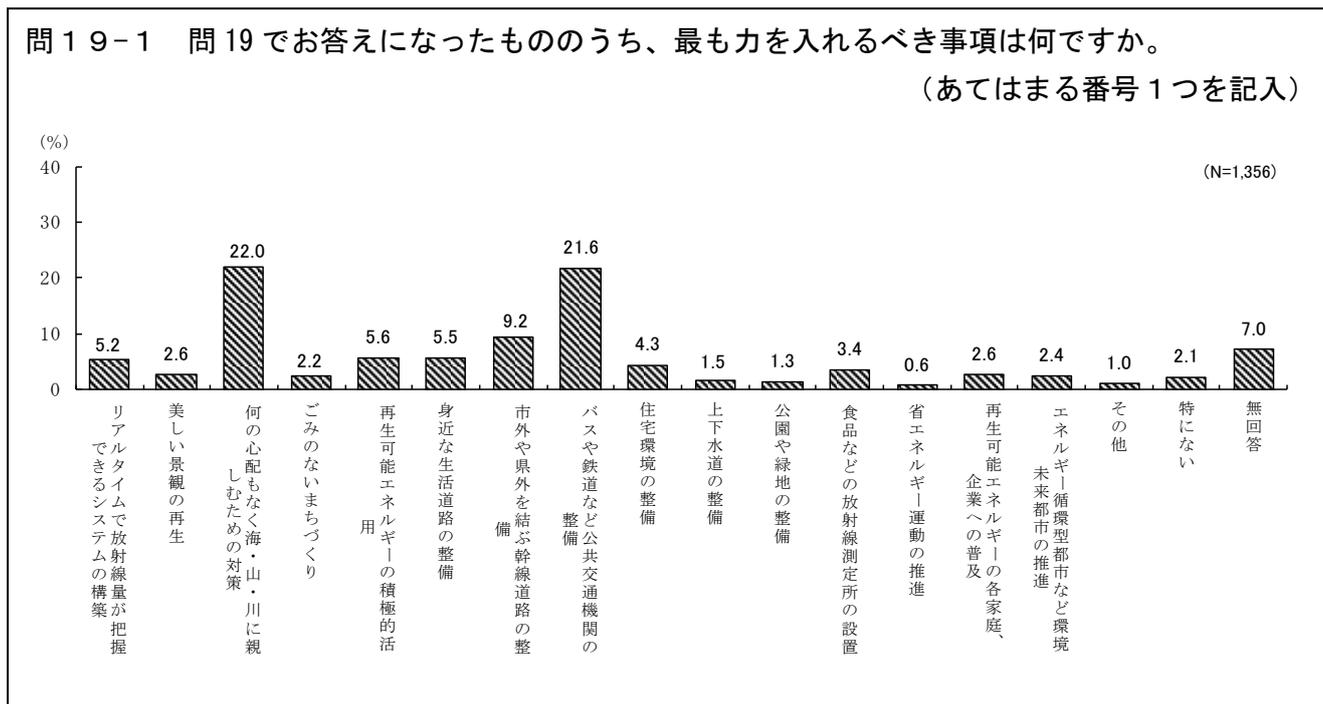
15. 【環境・インフラ（社会基盤）整備】力を入れるべき事項

問19 今後、南相馬市が取り組む施策「環境・インフラ（社会基盤）整備」について、力を入れるべき事項についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



南相馬市が取り組む施策「環境・インフラ（社会基盤）整備」で力を入れるべき事項については、「バスや鉄道など公共交通機関の整備」が61.4%と最も多く、次いで「何の心配もなく海・山・川に親しむための対策」（58.6%）、「市外や県外を結ぶ幹線道路の整備」（46.8%）となっている。

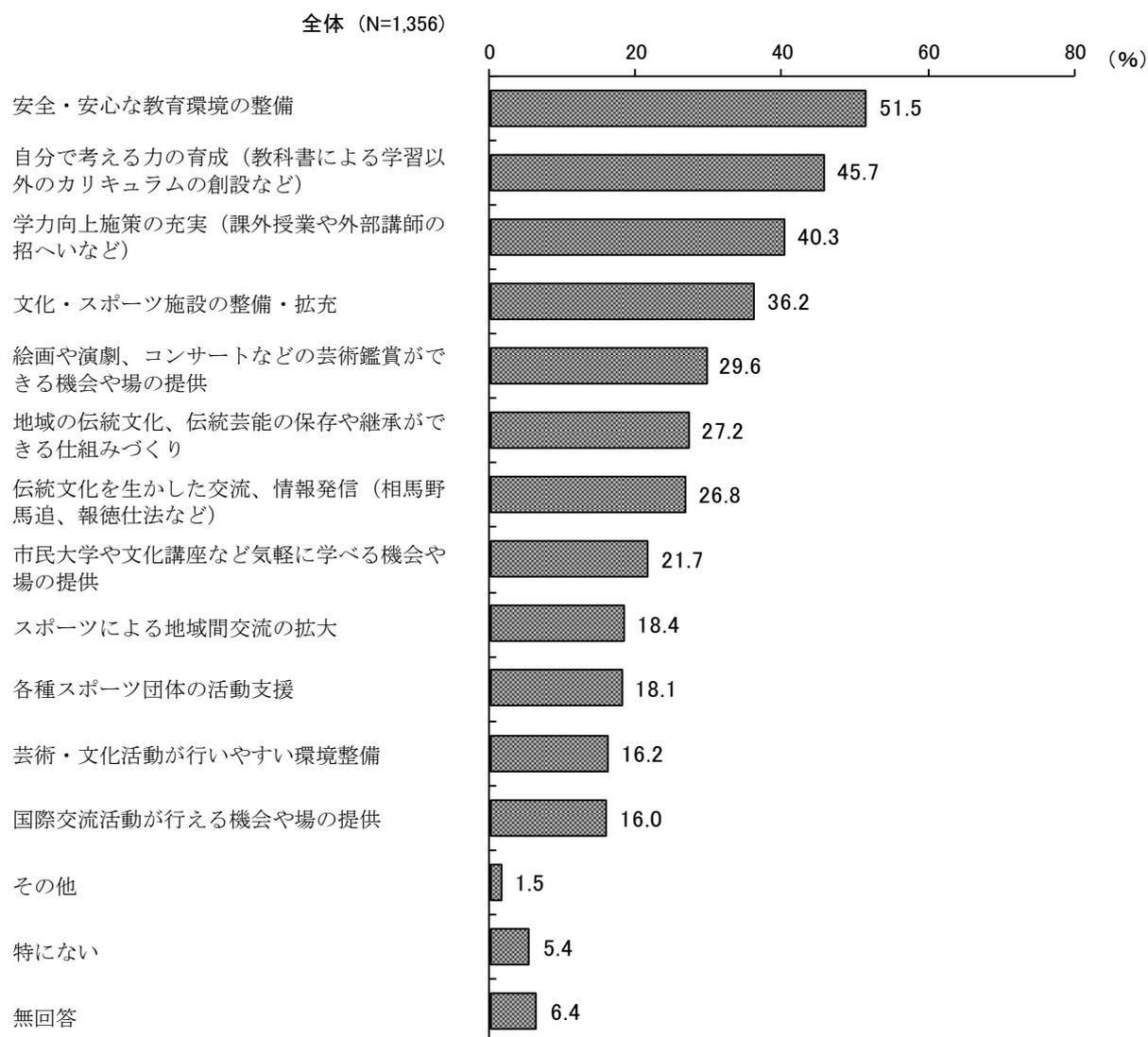
## 15. 【環境・インフラ（社会基盤）整備】力を入れるべき事項（つづき）



最も力を入れるべき事項については、「何の心配もなく海・山・川に親しむための対策」が 22.0%と最も多く、次いで「バスや鉄道など公共交通機関の整備」(21.6%) となっている。

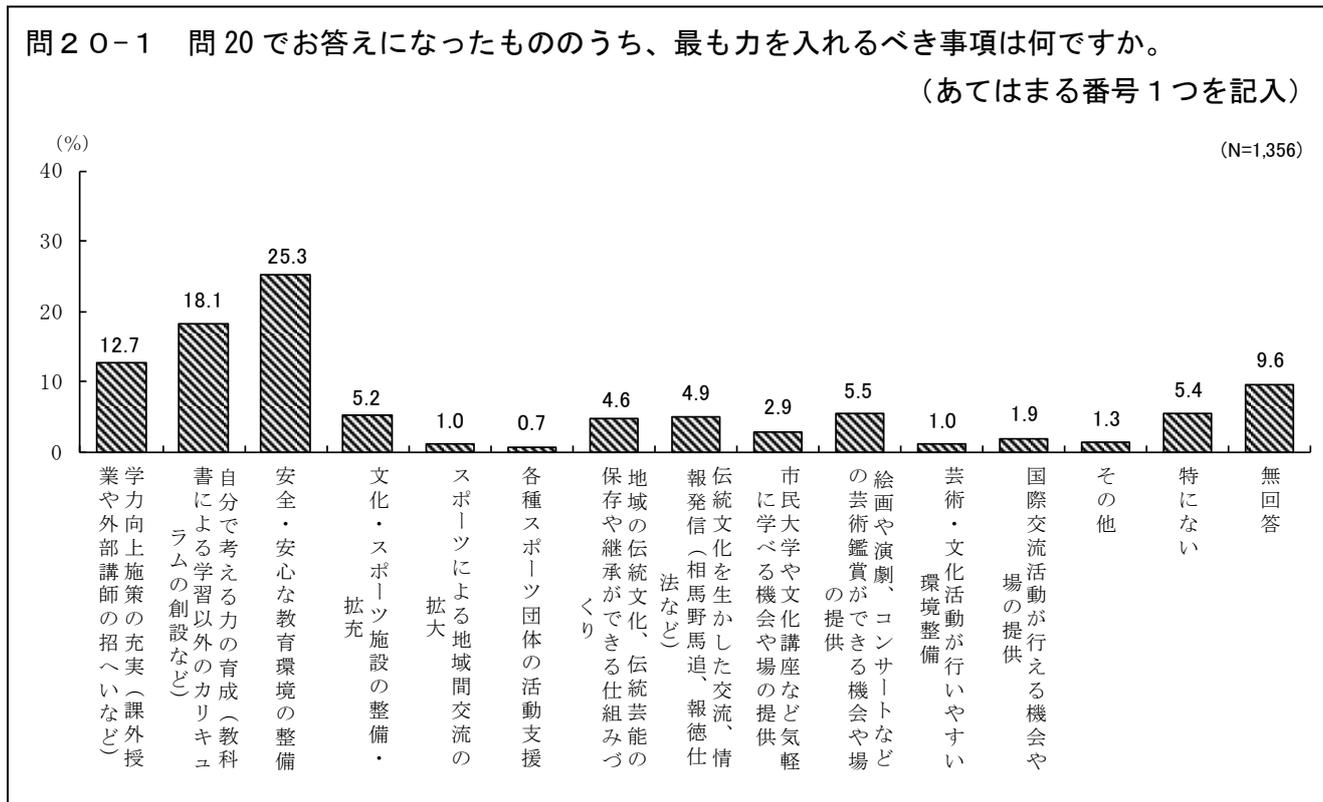
16. 【教育・文化】力を入れるべき事項

問20 今後、南相馬市が取り組む施策「教育・文化」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



南相馬市が取り組む施策「教育・文化」で力を入れるべき事項については、「安全・安心な教育環境の整備」が51.5%と最も多く、次いで「自分で考える力の育成 (教科書による学習以外のカリキュラムの創設など)」が45.7%となっている。

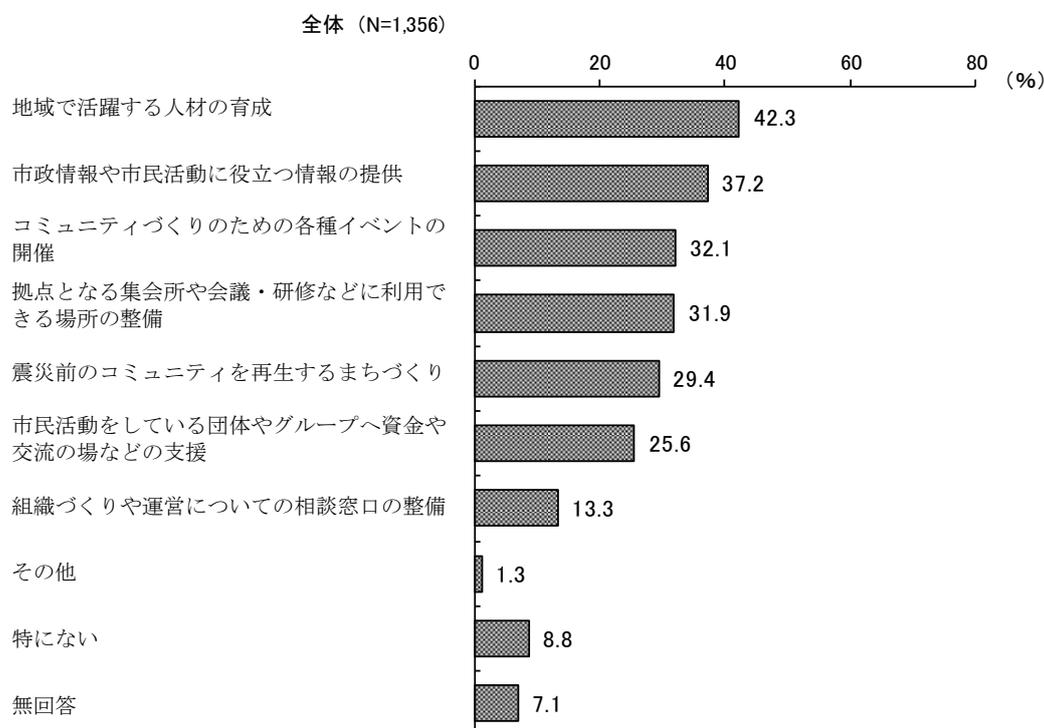
## 16. 【教育・文化】力を入れるべき事項（つづき）



最も力を入れるべき事項も同様に、「安全・安心な教育環境の整備」が25.3%と最も多い。

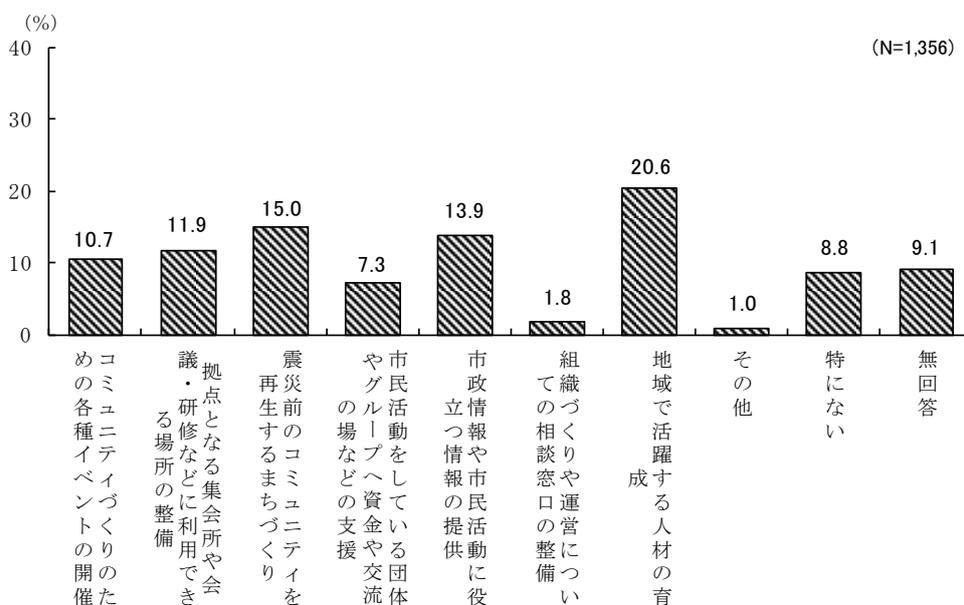
17. 【地域づくり】力を入れるべき事項

問21 今後、南相馬市が取り組む施策「地域づくり」について、力を入れるべき事項についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



問21-1 問21でお答えになったもののうち、最も力を入れるべき事項は何ですか。

(あてはまる番号1つを記入)



南相馬市が取り組む施策「地域づくり」で力を入れるべき事項については、「地域で活躍する人材の育成」が 42.3%と最も多く、次いで「市政情報や市民活動に役立つ情報の提供」が 37.2%となっている。

---

最も力を入れるべき事項も同様に、「地域で活躍する人材の育成」が20.6%と最も多い。

18. 自由意見の分析

18-1 分野別意見数

<自由意見 意見数>

分野コード			
コード	分野	Q22	構成比(%)
1	産業・交流	66	14.2
2	教育・文化	18	3.9
3	環境・防災	26	5.6
4	医療・健康・福祉	92	19.8
5	インフラ	69	14.9
6	地域づくり	43	9.3
7	原子力災害	80	17.2
8	復旧・復興	15	3.2
9	行政への意見	55	11.9
計	計	464	

南相馬市のまちづくりについて、「自由意見（問22）」の設問で意見を求めたところ、「医療・健康・福祉」分野が19.8%と最も多く、次いで「原子力災害」（17.2%）、「インフラ」分野（14.9%）となっている。